

利用上の注意

この報告書は、経済産業省生産動態統計調査及び神奈川県工業生産統計調査等の結果に基づき、平成22年の工業生産指数を集録したものです。

1 工業生産指数

工業生産指数とは、経済産業省及び本県の指定する品目の、毎月末現在における生産・出荷及び在庫の数量等を把握し、工業生産活動の推移を指数化して示したものです。なお、国機関等との指数比較をする際には「製造工業指数」と表記していただきます。

2 原指数と季節調整済指数

原指数は、年別の動向や前年比を長期的に観察する場合に使用し、季節調整済指数は、月々の動向や四半期別の動向を短期的に観察する場合に使用しています。

このため、本文中で使用している前年（末）比は原指数を、前期（末）比は季節調整済指数を用いて算出しています。

なお、生産・出荷・在庫率指数は12か月を平均した指数、四半期別の指数は3か月を平均した指数であり、在庫指数は年末・期末の指数です。

3 その他

（1）本書で使用している略称、記号等

「生産指数」、「生産者出荷指数」、「生産者製品在庫指数」、「生産者製品在庫率指数」をそれぞれ「生産（指数）」、「出荷（指数）」、「在庫（指数）」、「在庫率（指数）」と略記しています。また、指数の伸び率は原則として「上昇」、「低下」を用いますが、品目別の指数については「増加」、「減少」を用いており、一部で「増加」を「増」、「減少」を「減」と略記しています。

なお、「○年」とあるものは暦年間（1～12月）を示し、「Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ」は「1～3月期（末）」、「4～6月期（末）」、「7～9月期（末）」、「10～12月期（末）」を表しています。

グラフ、表中における記号の用法は以下のとおりです。

「－」・・・該当がないもの 「△」・・・マイナス（比較減）

「X」・・・数値が秘匿されているもの

（2）業種分類、採用品目数等

「神奈川県工業生産指数について」（P87～P96）を参照してください。

I 神奈川県工業生産の動向

1 概要 ー生産指数は前年比 11.9%と4年ぶりに上昇ー

(1) 生産の動向

生産指数（原指数）は、81.9で前年比11.9%上昇し、4年ぶりに上昇しました。

四半期別（季節調整済指数）にみると、Ⅰ期は前期比3.9%上昇し3期連続して上昇、Ⅱ期も同0.4%上昇、Ⅲ期も同2.3%上昇、Ⅳ期は同5.3%低下しました。

<全国及び局管内の動き>

全国の製造工業指数（原指数）は、94.5で前年比16.7%上昇し、3年ぶりに上昇しました。

四半期別（季節調整済指数）にみると、Ⅰ期は前期比7.4%上昇し4期連続して上昇、Ⅱ期も同0.7%上昇、Ⅲ期は同1.0%低下、Ⅳ期も同0.1%低下しました。

関東経済産業局管内の製造工業指数（原指数）は、89.0で前年比15.1%上昇し、3年ぶりに上昇しました。

四半期別（季節調整済指数）にみると、Ⅰ期は前期比7.6%上昇し4期連続して上昇、Ⅱ期も同1.5%上昇、Ⅲ期は同0.0%で横ばい、Ⅳ期は同0.8%低下しました。

(2) 出荷の動向

出荷指数（原指数）は、82.4で前年比9.3%上昇し、4年ぶりに上昇しました。

四半期別（季節調整済指数）にみると、Ⅰ期は前期比2.9%上昇し4期連続して上昇、Ⅱ期は同0.5%低下、Ⅲ期は同1.8%上昇、Ⅳ期は同3.7%低下しました。

(3) 在庫の動向

在庫指数（原指数）は、81.4で前年末比8.2%低下し、3年連続して低下しました。

四半期別（季節調整済指数）にみると、Ⅰ期は前期末比0.0%で横ばい、Ⅱ期は同3.1%低下、Ⅲ期も同2.9%低下、Ⅳ期も同2.1%低下しました。

◎ 年間の動き

以上のように、生産指数（季節調整済指数）は、Ⅰ期、Ⅱ期、Ⅲ期は上昇、Ⅳ期は低下しました。出荷指数（同）は、Ⅰ期、Ⅲ期は上昇、Ⅱ期、Ⅳ期は低下しました。在庫指数（同）の前期末比では、Ⅰ期は横ばい、Ⅱ期、Ⅲ期、Ⅳ期は低下しました。

また、生産・出荷指数（原指数）の前年同期比では各期とも上昇し、特にⅠ期からⅢ期は大きく上昇しました。在庫指数（同）の前年同期末比は各期とも低下しました。

県内の工業生産は4年ぶりに上昇し、輸送機械工業や一般機械工業などが上昇に

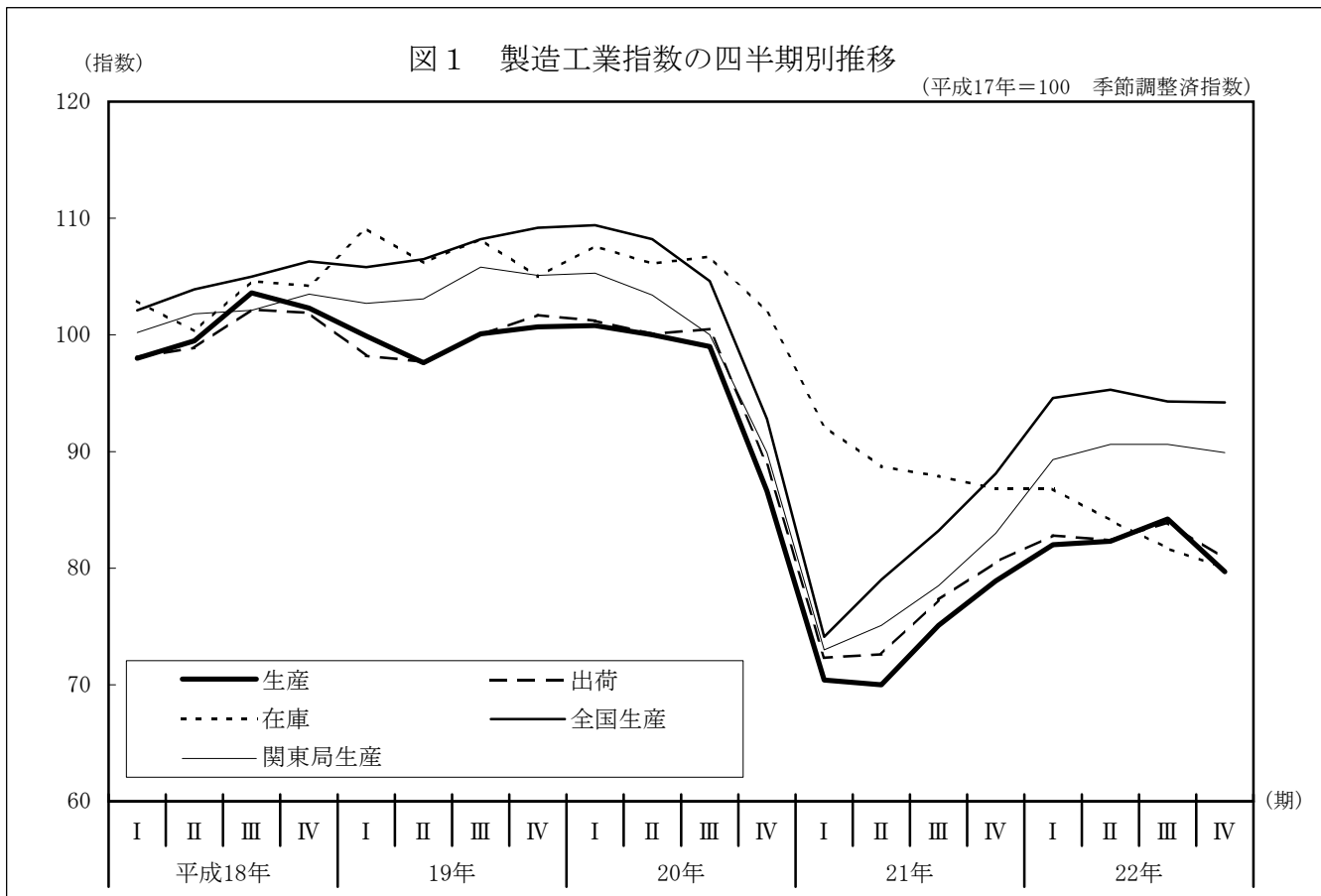


表1 製造工業指数の年別・四半期別推移

(平成17年=100)

		平成18年	19年	20年	21年	22年	22年			
							I	II	III	IV
神奈川県 生産	指数	101.1	99.4	96.6	73.2	81.9	82.0	82.3	84.2	79.7
	対前年(期)増減率%	1.1	△ 1.7	△ 2.8	△ 24.2	11.9	3.9	0.4	2.3	△ 5.3
	対前年同期増減率%	-	-	-	-	-	15.8	16.6	15.1	1.4
出荷	指数	100.5	99.2	97.7	75.4	82.4	82.8	82.4	83.9	80.8
	対前年(期)増減率%	0.5	△ 1.3	△ 1.5	△ 22.8	9.3	2.9	△ 0.5	1.8	△ 3.7
	対前年同期増減率%	-	-	-	-	-	13.7	12.3	11.4	0.7
在庫	指数	106.0	106.7	103.4	88.7	81.4	86.8	84.1	81.7	80.0
	対前年(期)末増減率%	1.9	0.7	△ 3.1	△ 14.2	△ 8.2	0.0	△ 3.1	△ 2.9	△ 2.1
	対前年同期末増減率%	-	-	-	-	-	△ 4.4	△ 5.6	△ 7.3	△ 8.2
全国 生産	指数	104.5	107.4	103.8	81.0	94.5	94.6	95.3	94.3	94.2
	対前年(期)増減率%	4.5	2.8	△ 3.4	△ 22.0	16.7	7.4	0.7	△ 1.0	△ 0.1
	対前年同期増減率%	-	-	-	-	-	28.2	21.3	14.0	6.0
関東経済産業局管内 生産	指数	101.9	104.1	99.7	77.3	89.0	89.3	90.6	90.6	89.9
	対前年(期)増減率%	1.9	2.2	△ 4.2	△ 22.5	15.1	7.6	1.5	0.0	△ 0.8
	対前年同期増減率%	-	-	-	-	-	23.5	20.8	16.3	7.2

* 年指数は原指数、四半期指数は季節調整済指数。ただし、対前年同期(末)増減率は原指数で計算

* 関東経済産業局管内：栃木県、群馬県、茨城県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県、新潟県、長野県、静岡県の地域

(4) 業種別の動向

<生産>

業種別にみると、普通トラックや特装ボデーなどが増加した輸送機械工業（前年比 30.0% 上昇）や、はん用内燃機関などが増加した一般機械工業（同 21.4% 上昇）など 15 業種が上昇しました。

また、固定通信装置などが減少した情報通信機械工業（前年比 9.2% 低下）などの 3 業種が低下しました。

<出荷>

業種別にみると、普通トラックや普通乗用車などが増加した輸送機械工業（前年比 30.5% 上昇）や、はん用内燃機関などが増加した一般機械工業（同 17.9% 上昇）など 15 業種が上昇しました。

また、固定通信装置などが減少した情報通信機械工業（前年比 10.2% 低下）などの 3 業種が低下しました。

<在庫>

業種別にみると、自動車用照明器具や蛍光灯器具などが減少した電気機械工業（前年末比 37.4% 低下）や超硬工具などが減少した一般機械工業（同 21.6% 低下）など 10 業種が低下しました。

また、モス型半導体集積回路（論理素子）などが増加した電子部品・デバイス工業（前年末比 53.5% 上昇）など 8 業種が上昇しました。

（P 3 図 2、P 4 表 2、P 5 表 3 参照）

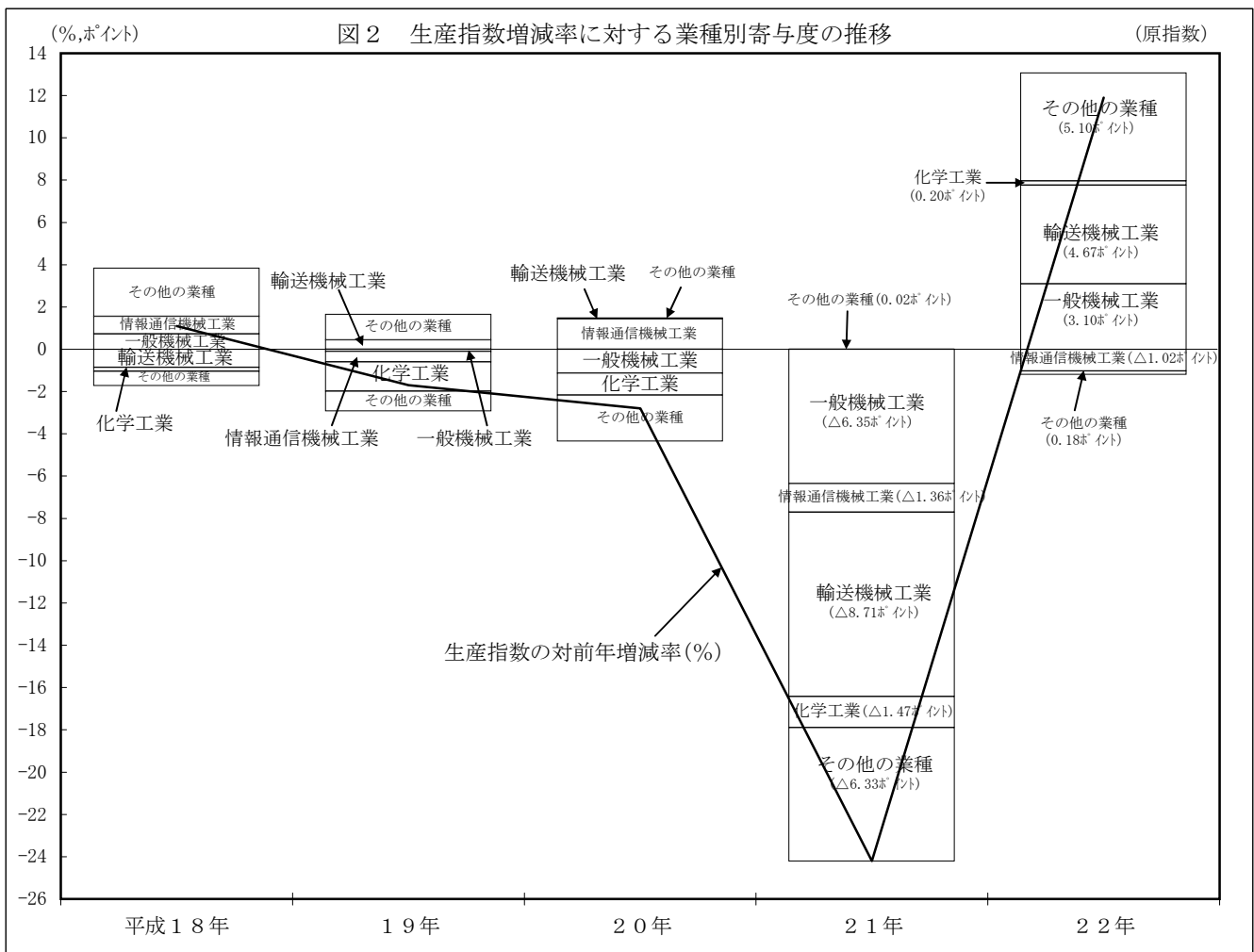


表2 工業生産指数の上昇・低下に寄与した主な業種と品目

(1) 生産 年指数 81.9 対前年増減率 11.9% 上昇15業種、低下3業種

業 種		対前年増減率(%)	寄与度(ポイント)	上昇または低下に寄与した主な品目	
上	輸送機械工業	30.0	4.67	増	普通トラック、特装ボデー、普通乗用車など
				減	小型乗用車、鋼船、船用ディーゼル機関など
	一般機械工業	21.4	3.10	増	はん用内燃機関、油圧機器、軸受など
				減	蒸気タービン部品、ボイラ部品、ろ過・分離機器など
	鉄 鋼 業	35.1	1.52	増	鋼半製品、普通鋼鋼帯、特殊鋼熱間圧延鋼材など
				減	—
電子部品・デバイス工業	43.0	1.45	増	コネクタ、モス型半導体集積回路(CCD)、線形半導体集積回路など	
			減	通信・電子用スイッチ	
金属製品工業	25.7	0.91	増	橋りょう、ばね、超硬チップなど	
			減	バンディングロール成型鋼管、飲料用アルミ缶、鉄骨など	
化学工業	1.0	0.20	増	写真フィルム、合成ゴム、酸化エチレンなど	
			減	医薬品、印画紙、合成洗剤など	
低下	情報通信機械工業	△ 9.2	△ 1.02	増	外部記憶装置、交換機、放送装置など
				減	固定通信装置、はん用コンピュータ、ビデオカメラなど

(2) 出荷 年指数 82.4 対前年増減率 9.3% 上昇15業種、低下3業種

業 種		対前年増減率(%)	寄与度(ポイント)	上昇または低下に寄与した主な品目	
上	輸送機械工業	30.5	5.78	増	普通トラック、普通乗用車、特装ボデーなど
				減	小型乗用車、鋼船、船用ディーゼル機関など
	一般機械工業	17.9	2.10	増	はん用内燃機関、油圧機器、掘さく機械など
				減	蒸気タービン部品、超硬工具、ボイラ部品など
	鉄 鋼 業	30.4	1.02	増	特殊鋼熱間圧延鋼材、普通鋼冷間仕上鋼材、普通鋼鋼帯など
				減	鋼半製品、普通鋼鋼管、鋳鋼・鍛鋼品
電子部品・デバイス工業	32.7	0.97	増	モス型半導体集積回路(論理素子)、コネクタ、光電変換素子など	
			減	通信・電子用スイッチ	
化学工業	0.6	0.09	増	写真フィルム、酸化エチレン、合成ゴムなど	
			減	医薬品、印画紙、ポリプロピレンなど	
低下	情報通信機械工業	△ 10.2	△ 1.02	増	外部記憶装置、交換機、放送装置など
				減	固定通信装置、はん用コンピュータ、ビデオカメラなど
石油・石炭製品工業	△ 5.0	△ 0.84	増	精製及び混合原料油、コークス、潤滑油など	
			減	軽油、C重油、灯油など	

(3) 在庫 年指数 81.4 対前年末増減率 △8.2% 上昇8業種、低下10業種

業 種		対前年末増減率(%)	寄与度(ポイント)	上昇または低下に寄与した主な品目	
上昇	電子部品・デバイス工業	53.5	1.82	増	モス型半導体集積回路(論理素子)、線形半導体集積回路、モス型半導体集積回路(CCD)など
				減	—
鉄 鋼 業	11.1	1.03	増	特殊鋼鋼管、特殊鋼熱間圧延鋼材、めっき鋼材など	
			減	鋼半製品、普通鋼鋼帯、鋳鋼・鍛鋼品など	
低下	電気機械工業	△ 37.4	△ 5.02	増	アルカリ蓄電池、高圧放電灯器具、蛍光灯ランプ
				減	自動車用照明器具、蛍光灯器具、電気計器など
一般機械工業	△ 21.6	△ 4.78	増	軸受、圧縮機、パッケージ形エアコンなど	
			減	超硬工具、はん用内燃機関、掘さく機械など	
輸送機械工業	△ 11.3	△ 0.77	増	けん引車、小型バス、小型トラック	
			減	普通トラック、普通乗用車、自転車など	
情報通信機械工業	△ 27.7	△ 0.26	増	金銭登録機、補聴器、コードレスホンなど	
			減	ビデオカメラ、陸上移動通信装置	
化学工業	△ 0.3	△ 0.05	増	合成ゴム、写真フィルム、漂白剤など	
			減	界面活性剤、ポリエチレン、ポリプロピレングリコールなど	

表 3

業種別年指数・対前年増減率

(平成17年=100 原指数)

業 種	項 目	生 産				出 荷				在 庫				在 庫 率			
		19年	20年	21年	22年	19年	20年	21年	22年	19年	20年	21年	22年	19年	20年	21年	22年
製 造 工 業	指 数	99.4	96.6	73.2	81.9	99.2	97.7	75.4	82.4	106.7	103.4	88.7	81.4	103.4	113.9	153.4	108.3
	対前年増減率%	△ 1.7	△ 2.8	△ 24.2	11.9	△ 1.3	△ 1.5	△ 22.8	9.3	0.7	△ 3.1	△ 14.2	△ 8.2	5.0	10.2	34.7	△ 29.4
鉄 鋼 業	指 数	109.3	109.2	74.9	101.2	106.6	107.1	68.0	88.7	124.5	98.6	81.9	91.0	105.4	100.3	120.7	105.0
	対前年増減率%	6.3	△ 0.1	△ 31.4	35.1	6.0	0.5	△ 36.5	30.4	17.0	△ 20.8	△ 16.9	11.1	3.9	△ 4.8	20.3	△ 13.0
非鉄金属 工 業	指 数	112.1	113.7	101.0	113.9	116.8	123.3	118.9	129.2	104.9	94.1	88.6	104.4	90.2	98.9	121.2	101.2
	対前年増減率%	2.4	1.4	△ 11.2	12.8	4.3	5.6	△ 3.6	8.7	15.7	△ 10.3	△ 5.8	17.8	11.2	9.6	22.5	△ 16.5
金属製品 工 業	指 数	109.4	100.5	77.0	96.8	109.2	99.9	82.3	95.7	116.3	99.6	89.5	77.2	106.9	110.0	129.9	100.4
	対前年増減率%	△ 2.1	△ 8.1	△ 23.4	25.7	△ 9.0	△ 8.5	△ 17.6	16.3	△ 6.0	△ 14.4	△ 10.1	△ 13.7	28.2	2.9	18.1	△ 22.7
一般機械 工 業	指 数	103.7	97.2	61.6	74.8	103.5	97.2	61.4	72.4	130.1	130.1	99.3	77.9	122.1	132.3	294.4	133.8
	対前年増減率%	△ 0.6	△ 6.3	△ 36.6	21.4	△ 1.2	△ 6.1	△ 36.8	17.9	3.8	0.0	△ 23.7	△ 21.6	22.7	8.4	122.5	△ 54.6
電気機械 工 業	指 数	96.2	87.0	72.3	73.1	96.5	87.8	72.7	74.3	106.7	97.0	150.4	94.2	94.6	102.5	127.1	132.9
	対前年増減率%	△ 3.5	△ 9.6	△ 16.9	1.1	△ 2.5	△ 9.0	△ 17.2	2.2	△ 14.3	△ 9.1	55.1	△ 37.4	△ 1.9	8.4	24.0	4.6
情報通信 機 械 工 業	指 数	104.3	122.9	105.9	96.2	112.4	145.8	125.1	112.4	51.6	36.8	24.9	18.0	66.4	129.5	33.9	35.2
	対前年増減率%	△ 6.0	17.8	△ 13.8	△ 9.2	5.6	29.7	△ 14.2	△ 10.2	△ 41.4	△ 28.7	△ 32.3	△ 27.7	△ 36.2	95.0	△ 73.8	3.8
電子部品・ デバイス工 業	指 数	125.7	118.7	89.3	127.7	121.2	114.3	81.4	108.0	107.4	147.0	111.7	171.5	104.9	101.2	147.3	121.6
	対前年増減率%	8.1	△ 5.6	△ 24.8	43.0	1.8	△ 5.7	△ 28.8	32.7	△ 26.7	36.9	△ 24.0	53.5	△ 1.6	△ 3.5	45.6	△ 17.4
輸送機械 工 業	指 数	97.9	98.0	56.4	73.3	98.0	99.0	58.6	76.5	89.6	67.1	48.5	43.0	76.6	83.3	73.9	57.7
	対前年増減率%	2.3	0.1	△ 42.4	30.0	△ 0.4	1.0	△ 40.8	30.5	20.4	△ 25.1	△ 27.7	△ 11.3	△ 8.8	8.7	△ 11.3	△ 21.9
精密機械 工 業	指 数	100.1	93.1	67.8	78.0	111.3	104.0	62.4	64.7	121.3	110.4	120.5	119.2	111.3	108.2	220.7	149.0
	対前年増減率%	△ 4.4	△ 7.0	△ 27.2	15.0	△ 1.3	△ 6.6	△ 40.0	3.7	7.0	△ 9.0	9.1	△ 1.1	12.0	△ 2.8	104.0	△ 32.5
窯業・土石 製 品 工 業	指 数	97.8	91.5	58.8	60.3	95.5	90.7	61.7	65.3	114.5	133.1	99.5	84.7	121.3	133.0	144.4	112.9
	対前年増減率%	△ 0.8	△ 6.4	△ 35.7	2.6	△ 2.8	△ 5.0	△ 32.0	5.8	5.0	16.2	△ 25.2	△ 14.9	14.2	9.6	8.6	△ 21.8
化学工業	指 数	91.4	85.8	78.1	78.9	92.1	85.5	78.9	79.4	101.4	112.9	87.6	87.3	103.1	120.5	139.7	100.5
	対前年増減率%	△ 7.7	△ 6.1	△ 9.0	1.0	△ 6.3	△ 7.2	△ 7.7	0.6	3.4	11.3	△ 22.4	△ 0.3	△ 0.4	16.9	15.9	△ 28.1
石油・石炭 製 品 工 業	指 数	92.6	87.8	88.2	85.7	91.4	88.8	88.2	83.8	91.0	106.4	97.9	97.3	106.0	125.1	129.9	135.2
	対前年増減率%	△ 2.4	△ 5.2	0.5	△ 2.8	△ 2.6	△ 2.8	△ 0.7	△ 5.0	△ 3.7	16.9	△ 8.0	△ 0.6	0.6	18.0	3.8	4.1
プラスチック 製 品 工 業	指 数	85.6	79.7	61.9	72.5	87.6	80.2	61.6	72.0	80.7	75.8	62.0	62.4	94.9	98.8	100.8	90.3
	対前年増減率%	△ 9.0	△ 6.9	△ 22.3	17.1	△ 7.4	△ 8.4	△ 23.2	16.9	△ 9.3	△ 6.1	△ 18.2	0.6	0.7	4.1	2.0	△ 10.4
紙・紙加工 工 業	指 数	101.7	102.6	97.9	102.5	98.2	100.0	92.4	94.3	52.1	67.8	79.4	88.1	82.3	64.5	87.0	83.1
	対前年増減率%	△ 0.5	0.9	△ 4.6	4.7	△ 4.4	1.8	△ 7.6	2.1	△ 34.0	30.1	17.1	11.0	△ 5.8	△ 21.6	34.9	△ 4.5
繊維工業	指 数	99.5	108.4	93.3	109.1	97.4	99.9	86.1	97.5	96.4	110.1	91.7	113.2	88.3	86.2	84.2	87.5
	対前年増減率%	5.3	8.9	△ 13.9	16.9	3.4	2.6	△ 13.8	13.2	△ 15.7	14.2	△ 16.7	23.4	△ 8.1	△ 2.4	△ 2.3	3.9
食料品・ 飲料工業	指 数	98.9	92.2	88.3	90.2	98.7	91.8	88.1	89.1	92.5	98.8	80.7	92.9	109.8	109.6	107.1	104.9
	対前年増減率%	△ 1.4	△ 6.8	△ 4.2	2.2	△ 0.7	△ 7.0	△ 4.0	1.1	△ 8.8	6.8	△ 18.3	15.1	7.9	△ 0.2	△ 2.3	△ 2.1
その他工業	指 数	102.4	97.8	71.2	82.8	100.3	94.2	73.9	77.2	122.3	108.0	102.6	106.7	136.8	161.4	199.4	183.9
	対前年増減率%	6.4	△ 4.5	△ 27.2	16.3	5.7	△ 6.1	△ 21.5	4.5	3.8	△ 11.7	△ 5.0	4.0	17.0	18.0	23.5	△ 7.8
ゴム製品 工 業	指 数	107.3	107.6	76.9	94.0	104.7	103.4	81.4	86.7	118.6	110.5	97.5	116.9	116.8	122.6	139.0	148.9
	対前年増減率%	9.5	0.3	△ 28.5	22.2	8.5	△ 1.2	△ 21.3	6.5	9.1	△ 6.8	△ 11.8	19.9	9.7	5.0	13.4	7.1
家具工業	指 数	89.5	71.9	56.2	53.2	89.5	71.8	55.4	54.0	130.7	102.3	114.3	83.1	182.9	250.9	338.9	264.7
	対前年増減率%	△ 2.3	△ 19.7	△ 21.8	△ 5.3	△ 1.5	△ 19.8	△ 22.8	△ 2.5	△ 5.8	△ 21.7	11.7	△ 27.3	29.9	37.2	35.1	△ 21.9
公 益 事 業	指 数	105.8	116.5	113.5	117.6	104.5	105.7	98.3	103.5	-	-	-	-	-	-	-	-
	対前年増減率%	8.8	10.1	△ 2.6	3.6	1.5	1.1	△ 7.0	5.3	-	-	-	-	-	-	-	-
機 械 工 業	指 数	101.9	101.0	68.6	79.8	102.4	103.7	69.5	80.8	108.5	101.9	90.4	73.3	100.2	111.8	179.1	106.0
	対前年増減率%	△ 0.3	△ 0.9	△ 32.1	16.3	0.0	1.3	△ 33.0	16.3	△ 1.5	△ 6.1	△ 11.3	△ 18.9	4.8	11.6	60.2	△ 40.8

*生産・出荷・在庫率は年平均(年平均比)、在庫は年末(年末比)

*公益事業、機械工業は参考系列(P87 業種分類参照)

表 4

平成22年業種別四半期指数・対前期増減率

(平成17年=100 季節調整済指数)

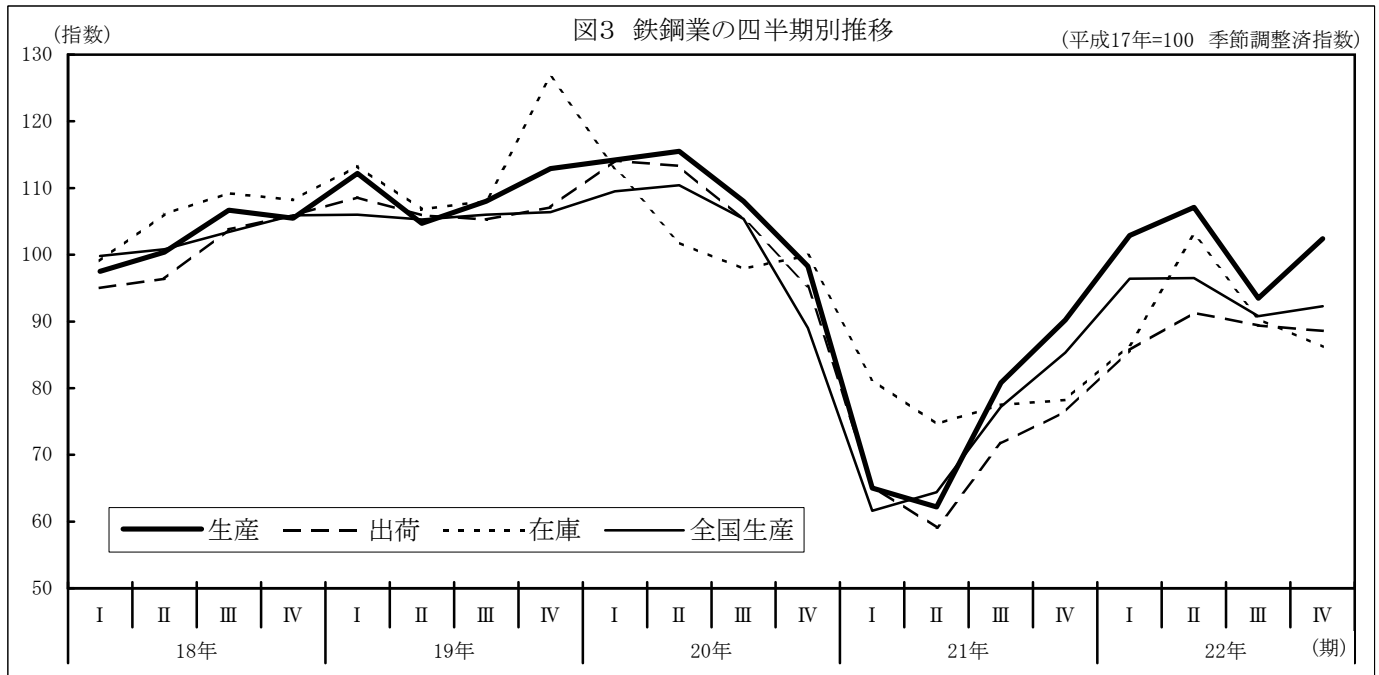
業 種	項 目	生 産				出 荷				在 庫				在 庫 率			
		I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV
製 造 工 業	指 数	82.0	82.3	84.2	79.7	82.8	82.4	83.9	80.8	86.8	84.1	81.7	80.0	111.7	103.6	108.1	109.9
	対前期増減率%	3.9	0.4	2.3	△ 5.3	2.9	△ 0.5	1.8	△ 3.7	0.0	△ 3.1	△ 2.9	△ 2.1	△ 12.3	△ 7.3	4.3	1.7
鉄 鋼 業	指 数	102.9	107.1	93.5	102.4	85.7	91.3	89.4	88.6	86.5	103.0	90.4	86.2	104.0	103.8	106.9	106.1
	対前期増減率%	14.1	4.1	△ 12.7	9.5	12.0	6.5	△ 2.1	△ 0.9	10.6	19.1	△ 12.2	△ 4.6	△ 0.6	△ 0.2	3.0	△ 0.7
非鉄金属 工 業	指 数	117.1	114.1	114.0	111.6	133.3	132.2	127.1	125.8	85.9	91.2	98.1	101.5	87.3	99.2	108.8	112.3
	対前期増減率%	△ 2.9	△ 2.6	△ 0.1	△ 2.1	△ 6.1	△ 0.8	△ 3.9	△ 1.0	1.1	6.2	7.6	3.5	△ 9.2	13.6	9.7	3.2
金属製品 工 業	指 数	84.9	86.7	130.0	81.9	89.2	89.4	117.6	86.3	91.6	76.8	87.2	78.1	102.1	94.9	99.7	105.7
	対前期増減率%	3.5	2.1	49.9	△ 37.0	4.4	0.2	31.5	△ 26.6	2.0	△ 16.2	13.5	△ 10.4	△ 13.6	△ 7.1	5.1	6.0
一般機械 工 業	指 数	71.3	74.7	77.9	76.6	70.3	71.4	73.2	76.2	93.1	71.4	74.1	73.9	152.1	117.2	121.7	143.3
	対前期増減率%	10.9	4.8	4.3	△ 1.7	8.7	1.6	2.5	4.1	△ 0.3	△ 23.3	3.8	△ 0.3	△ 27.9	△ 22.9	3.8	17.7
電気機械 工 業	指 数	75.5	74.4	69.2	72.1	75.9	75.0	71.0	74.8	132.7	144.2	119.7	86.6	136.8	142.4	140.2	111.6
	対前期増減率%	3.3	△ 1.5	△ 7.0	4.2	4.4	△ 1.2	△ 5.3	5.4	△ 3.6	8.7	△ 17.0	△ 27.7	△ 9.1	4.1	△ 1.5	△ 20.4
情報通信 機 械 工 業	指 数	109.8	93.7	88.3	92.6	129.1	108.1	103.4	106.4	30.5	27.0	23.6	23.3	50.1	35.5	32.6	25.0
	対前期増減率%	△ 7.9	△ 14.7	△ 5.8	4.9	△ 9.7	△ 16.3	△ 4.3	2.9	3.0	△ 11.5	△ 12.6	△ 1.3	44.4	△ 29.1	△ 8.2	△ 23.3
電子部品・ デバイス工 業	指 数	124.9	132.1	127.1	126.6	111.6	111.7	107.7	102.1	113.6	128.3	146.6	163.9	100.0	102.5	125.6	162.5
	対前期増減率%	8.0	5.8	△ 3.8	△ 0.4	19.2	0.1	△ 3.6	△ 5.2	9.9	12.9	14.3	11.8	△ 10.4	2.5	22.5	29.4
輸送機械 工 業	指 数	75.2	77.2	75.5	66.9	76.2	79.9	78.4	72.2	50.0	46.6	41.7	42.7	60.8	55.6	57.8	55.8
	対前期増減率%	11.9	2.7	△ 2.2	△ 11.4	9.3	4.9	△ 1.9	△ 7.9	1.0	△ 6.8	△ 10.5	2.4	△ 1.8	△ 8.6	4.0	△ 3.5
精密機械 工 業	指 数	81.4	78.0	76.3	77.3	67.8	64.9	60.6	66.1	118.5	116.2	114.4	115.5	157.9	155.6	144.4	134.2
	対前期増減率%	15.8	△ 4.2	△ 2.2	1.3	11.1	△ 4.3	△ 6.6	9.1	2.2	△ 1.9	△ 1.5	1.0	△ 21.9	△ 1.5	△ 7.2	△ 7.1
窯業・土石 製 品 工 業	指 数	60.2	62.4	61.2	57.8	65.7	67.5	66.2	62.3	98.5	90.3	88.2	85.3	117.0	111.3	111.7	111.3
	対前期増減率%	4.7	3.7	△ 1.9	△ 5.6	6.7	2.7	△ 1.9	△ 5.9	△ 0.7	△ 8.3	△ 2.3	△ 3.3	△ 4.5	△ 4.9	0.4	△ 0.4
化学工業	指 数	80.4	80.0	79.9	75.6	82.1	80.6	78.4	76.8	87.2	84.9	86.4	86.3	94.9	95.5	105.3	107.6
	対前期増減率%	1.1	△ 0.5	△ 0.1	△ 5.4	2.0	△ 1.8	△ 2.7	△ 2.0	△ 0.3	△ 2.6	1.8	△ 0.1	△ 8.0	0.6	10.3	2.2
石油・石炭 製 品 工 業	指 数	84.7	80.8	88.7	88.1	83.6	78.9	86.2	86.7	102.4	99.7	94.9	100.6	139.6	143.1	128.9	129.6
	対前期増減率%	△ 4.7	△ 4.6	9.8	△ 0.7	△ 4.0	△ 5.6	9.3	0.6	1.9	△ 2.6	△ 4.8	6.0	12.5	2.5	△ 9.9	0.5
プラスチック 製 品 工 業	指 数	73.4	72.4	73.3	71.4	73.1	71.1	73.4	71.1	57.3	68.0	60.0	61.8	90.0	93.9	88.6	88.5
	対前期増減率%	12.6	△ 1.4	1.2	△ 2.6	11.3	△ 2.7	3.2	△ 3.1	△ 6.1	18.7	△ 11.8	3.0	△ 4.1	4.3	△ 5.6	△ 0.1
紙・紙加工品 工 業	指 数	100.5	99.1	105.7	104.9	95.0	90.9	97.0	95.5	86.1	99.0	92.4	105.7	80.2	85.2	76.9	91.1
	対前期増減率%	2.4	△ 1.4	6.7	△ 0.8	0.4	△ 4.3	6.7	△ 1.5	△ 12.1	15.0	△ 6.7	14.4	△ 5.3	6.2	△ 9.7	18.5
繊維工業	指 数	111.0	108.2	115.9	103.1	95.8	98.3	104.1	94.0	85.5	86.9	85.0	90.4	85.3	83.1	83.2	101.3
	対前期増減率%	9.9	△ 2.5	7.1	△ 11.0	△ 0.9	2.6	5.9	△ 9.7	14.8	1.6	△ 2.2	6.4	17.5	△ 2.6	0.1	21.8
食料品・ 飲料工業	指 数	90.8	88.9	92.2	89.8	90.1	88.2	90.3	88.3	98.0	96.4	99.2	100.4	102.6	106.9	102.7	107.8
	対前期増減率%	5.7	△ 2.1	3.7	△ 2.6	4.6	△ 2.1	2.4	△ 2.2	12.1	△ 1.6	2.9	1.2	△ 0.2	4.2	△ 3.9	5.0
その他工業	指 数	79.9	87.3	82.7	81.3	76.4	83.1	76.5	73.5	105.7	109.4	107.6	109.9	184.9	184.4	186.7	178.5
	対前期増減率%	2.6	9.3	△ 5.3	△ 1.7	△ 6.1	8.8	△ 7.9	△ 3.9	1.1	3.5	△ 1.6	2.1	△ 3.6	△ 0.3	1.2	△ 4.4
ゴム製品 工 業	指 数	91.7	99.5	93.7	91.2	88.1	93.9	84.7	81.3	106.0	113.0	120.7	123.5	137.9	131.6	156.6	171.8
	対前期増減率%	6.9	8.5	△ 5.8	△ 2.7	△ 3.3	6.6	△ 9.8	△ 4.0	4.6	6.6	6.8	2.3	16.9	△ 4.6	19.0	9.7
家具工業	指 数	54.0	53.1	52.3	52.3	53.9	53.9	54.2	53.5	104.6	105.6	75.7	79.5	298.5	300.9	259.2	209.1
	対前期増減率%	△ 3.7	△ 1.7	△ 1.5	0.0	△ 4.1	0.0	0.6	△ 1.3	△ 3.6	1.0	△ 28.3	5.0	△ 13.8	0.8	△ 13.9	△ 19.3
公 益 事 業	指 数	117.5	115.6	120.5	118.0	104.4	105.3	105.4	99.7	-	-	-	-	-	-	-	-
	対前期増減率%	△ 1.4	△ 1.6	4.2	△ 2.1	5.6	0.9	0.1	△ 5.4	-	-	-	-	-	-	-	-
機 械 工 業	指 数	80.8	80.9	81.0	77.4	81.8	82.1	81.5	78.3	85.8	77.2	73.7	70.6	116.2	97.4	103.0	107.4
	対前期増減率%	5.6	0.1	0.1	△ 4.4	5.4	0.4	△ 0.7	△ 3.9	△ 1.0	△ 10.0	△ 4.5	△ 4.2	△ 19.4	△ 16.2	5.7	4.3

*生産・出荷・在庫率は3か月平均(3か月平均比)、在庫は期末(期末比)

*公益事業、機械工業は参考系列(P87 業種分類参照)

2 各業種の動向

(1) 主要業種の動向



<生産>

生産指数(原指数)は、101.2で前年比35.1%上昇し、3年ぶりに上昇しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期比14.1%上昇、II期も同4.1%上昇、III期は同12.7%低下、IV期は同9.5%上昇しました。

品目別にみると、鋼半製品や普通鋼鋼帯などが増加しました。

また、全国の鉄鋼業の生産指数(原指数)は、93.8で前年比29.4%上昇し、3年ぶりに上昇しました。

<出荷>

出荷指数(原指数)は、88.7で前年比30.4%上昇し、2年ぶりに上昇しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期比12.0%上昇、II期も同6.5%上昇、III期は同2.1%低下、IV期も同0.9%低下しました。

品目別にみると、特殊鋼熱間圧延鋼材や普通鋼冷間仕上鋼材などが増加し、鋼半製品などが減少しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、91.0で前年末比11.1%上昇し、3年ぶりに上昇しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期末比10.6%上昇、II期も同19.1%上昇、III期は同12.2%低下、IV期も同4.6%低下しました。

品目別にみると、特殊鋼鋼管や特殊鋼熱間圧延鋼材などが増加し、鋼半製品などが減少しました。

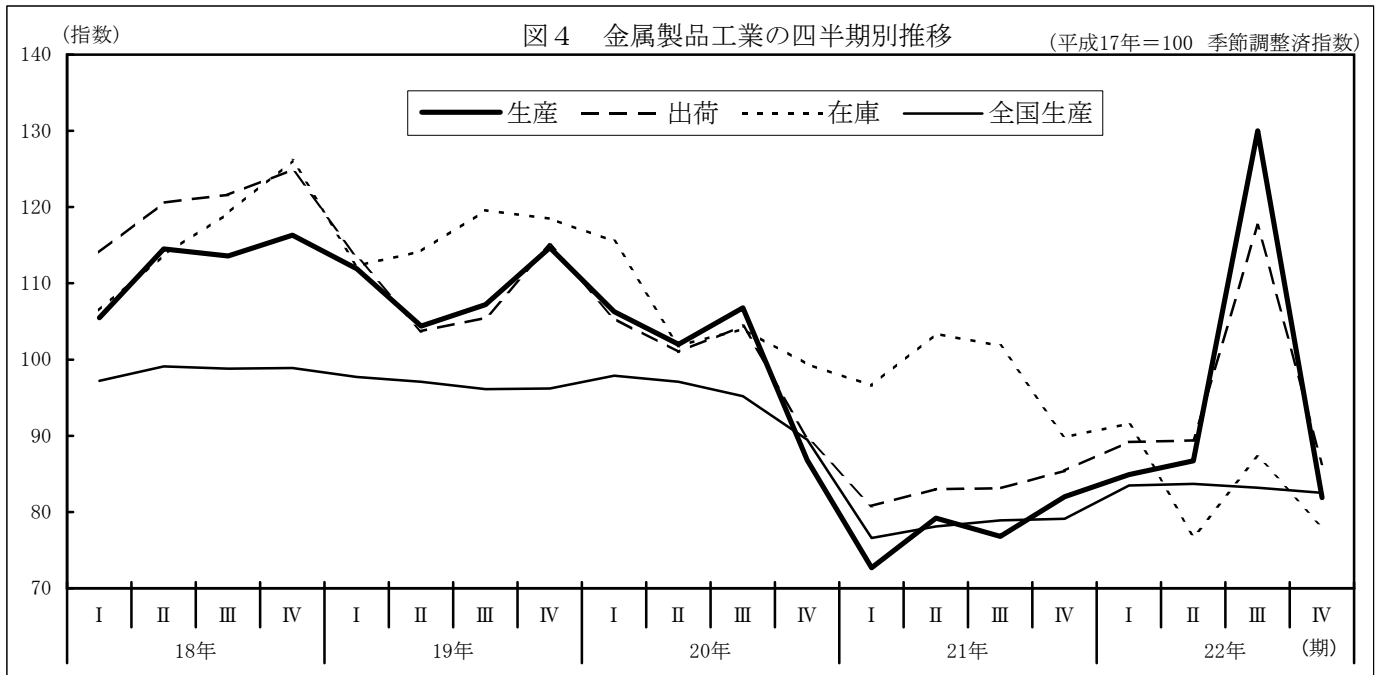
	指数	74.9	101.2	I	II	III	IV
				102.9	107.1	93.5	102.4
	対前年(期)増減率%	△ 31.4	35.1	14.1	4.1	△ 12.7	9.5
	指数	68.0	88.7	85.7	91.3	89.4	88.6
	対前年(期)増減率%	△ 36.5	30.4	12.0	6.5	△ 2.1	△ 0.9
	指数	81.9	91.0	86.5	103.0	90.4	86.2
	対前年(期)末増減率%	△ 16.9	11.1	10.6	19.1	△ 12.2	△ 4.6

増	鋼半製品、普通鋼鋼帯、特殊鋼熱間圧延鋼材など
減	—
増	特殊鋼熱間圧延鋼材、普通鋼冷間仕上鋼材、普通鋼鋼帯など
減	鋼半製品、普通鋼鋼管など
増	特殊鋼鋼管、特殊鋼熱間圧延鋼材、めっき鋼材など
減	鋼半製品、普通鋼鋼帯など

*年指数(比)は原指数、四半期指数(比)は季節調整済指数

<金属製品工業>

—生産、出荷とも4年ぶりの上昇—



<生産>

生産指数(原指数)は、96.8で前年比25.7%上昇し、4年ぶりに上昇しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期比3.5%上昇、II期も同2.1%上昇、III期も同49.9%上昇、IV期は同37.0%低下しました。

品目別にみると、橋りょうやばねなどが増加し、バンディングロール成型鋼管などが減少しました。

また、全国の金属製品工業の生産指数(原指数)は、83.1で前年比6.7%上昇し、8年ぶりに上昇しました。

<出荷>

出荷指数(原指数)は、95.7で前年比16.3%上昇し、4年ぶりに上昇しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期比4.4%上昇、II期も同0.2%上昇、III期も同31.5%上昇、IV期は同26.6%低下しました。

品目別にみると、橋りょうやばねなどが増加し、バンディングロール成型鋼管などが減少しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、77.2で前年末比13.7%低下し、4年連続して低下しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期末比2.0%上昇、II期は同16.2%低下、III期は同13.5%上昇、IV期は同10.4%低下しました。

品目別にみると、飲料用アルミ缶や超硬チップなどが減少し、ばねなどが増加しました。

表6 金属製品工業指数の年別・四半期別推移と上昇又は低下に寄与した主な品目

		21年		22年			
		指数	増減率%	I	II	III	IV
生産	指数	77.0	96.8	84.9	86.7	130.0	81.9
	対前年(期)増減率%	△ 23.4	25.7	3.5	2.1	49.9	△ 37.0
出荷	指数	82.3	95.7	89.2	89.4	117.6	86.3
	対前年(期)増減率%	△ 17.6	16.3	4.4	0.2	31.5	△ 26.6
在庫	指数	89.5	77.2	91.6	76.8	87.2	78.1
	対前年(期)末増減率%	△ 10.1	△ 13.7	2.0	△ 16.2	13.5	△ 10.4

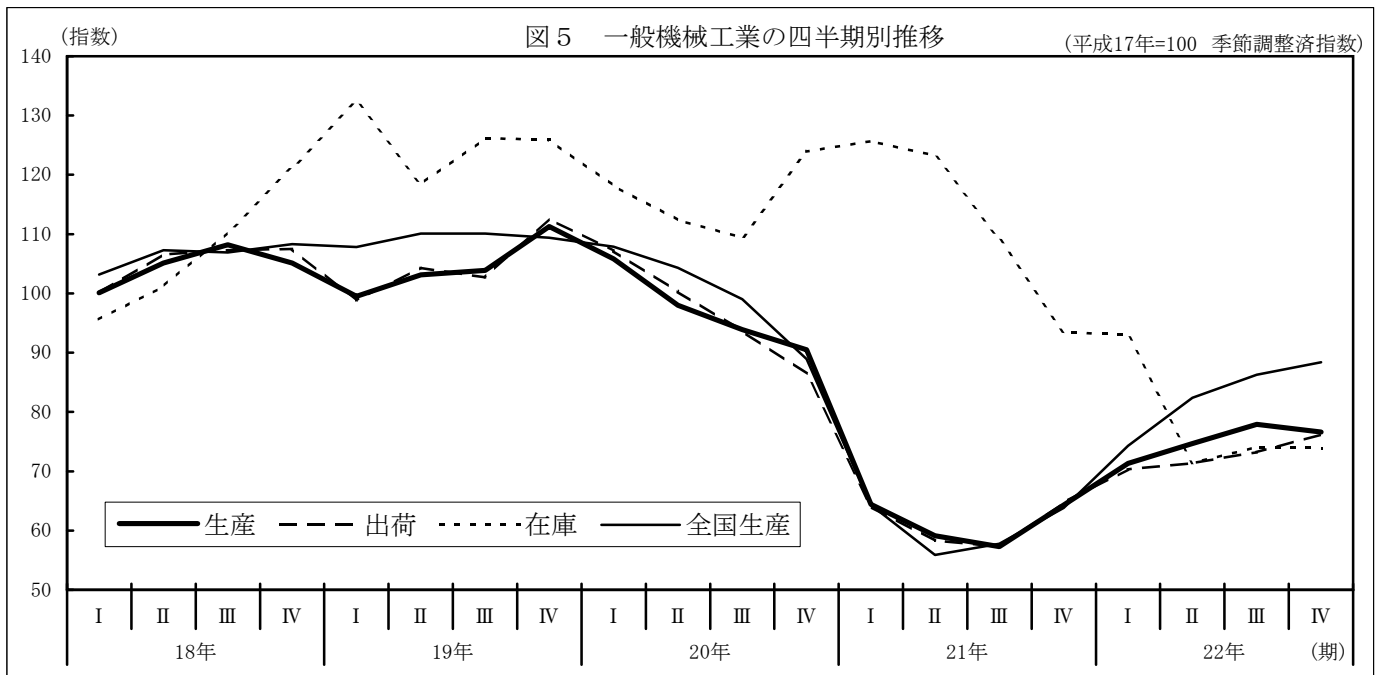
上昇又は低下に寄与した品目		
生産	増	橋りょう、ばね、超硬チップなど
	減	バンディングロール成型鋼管、飲料用アルミ缶など
出荷	増	橋りょう、ばね、超硬チップなど
	減	バンディングロール成型鋼管、飲料用アルミ缶など
在庫	増	ばね、ドラム缶
	減	飲料用アルミ缶、超硬チップ、ガス機器など

*年指数(比)は原指数、四半期指数(比)は季節調整済指数

*品目順は寄与度順に列記

<一般機械工業>

—生産、出荷とも4年ぶりの上昇—



<生産>

生産指数(原指数)は、74.8で前年比21.4%上昇し、4年ぶりに上昇しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期比10.9%上昇、II期も同4.8%上昇、III期も同4.3%上昇、IV期は同1.7%低下しました。

品目別にみると、はん用内燃機関や油圧機器などが増加し、蒸気タービン部品などが減少しました。

また、全国の一般機械工業の生産指数(原指数)は、82.8で前年比37.3%上昇し、3年ぶりに上昇しました。

<出荷>

出荷指数(原指数)は、72.4で前年比17.9%上昇し、4年ぶりに上昇しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期比8.7%上昇、II期も同1.6%上昇、III期も同2.5%上昇、IV期も同4.1%上昇しました。

品目別にみると、はん用内燃機関や油圧機器などが増加し、蒸気タービン部品などが減少しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、77.9で前年末比21.6%低下し、2年連続して低下しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期末比0.3%低下、II期も同23.3%低下、III期は同3.8%上昇、IV期は同0.3%低下しました。

品目別にみると、超硬工具やはん用内燃機関などが減少し、軸受などが増加しました。

表7 一般機械工業指数の年別・四半期別推移と上昇又は低下に寄与した主な品目

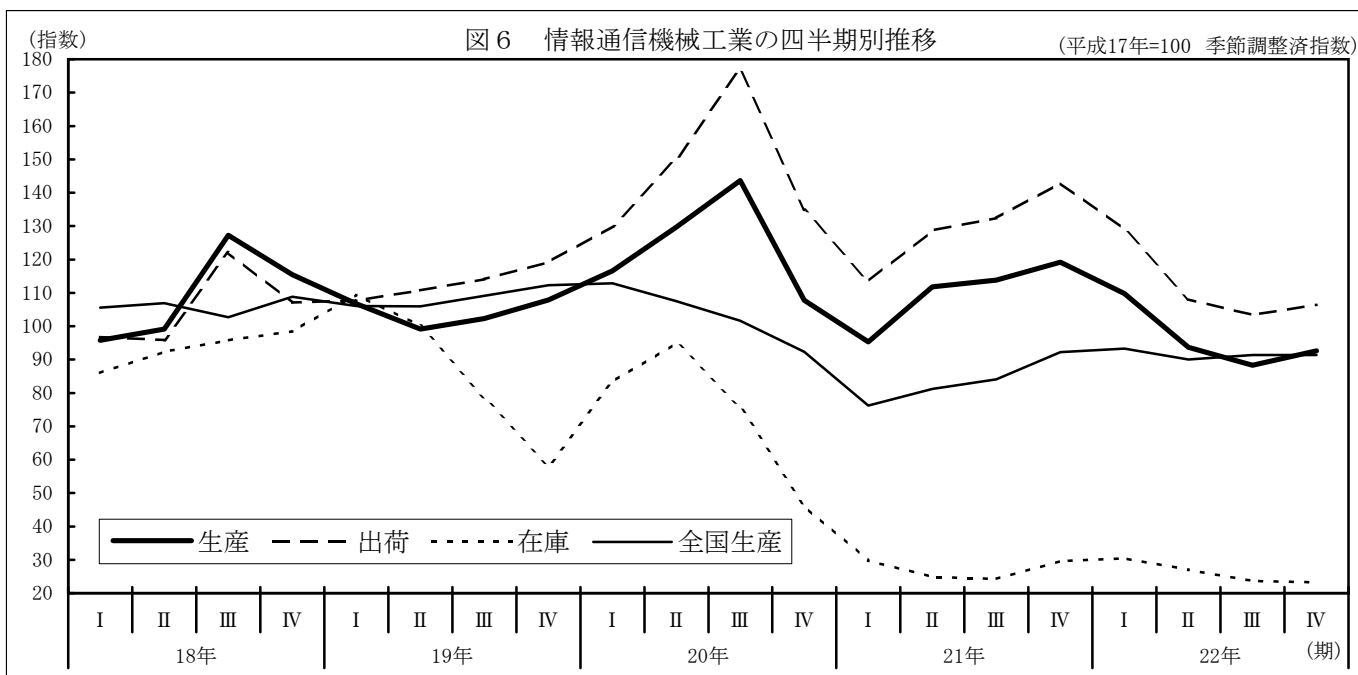
		21年		22年				上昇又は低下に寄与した品目	
		指数	対前年(期)増減率%	I	II	III	IV		
生産	指数	61.6	74.8	71.3	74.7	77.9	76.6	増 はん用内燃機関、油圧機器、軸受など 減 蒸気タービン部品、ボイラ部品など	
	対前年(期)増減率%	△ 36.6	21.4	10.9	4.8	4.3	△ 1.7		
出荷	指数	61.4	72.4	70.3	71.4	73.2	76.2	増 はん用内燃機関、油圧機器、掘さく機械など 減 蒸気タービン部品、超硬工具など	
	対前年(期)増減率%	△ 36.8	17.9	8.7	1.6	2.5	4.1		
在庫	指数	99.3	77.9	93.1	71.4	74.1	73.9	増 軸受、圧縮機など 減 超硬工具、はん用内燃機関、掘さく機械など	
	対前年(期)末増減率%	△ 23.7	△ 21.6	△ 0.3	△ 23.3	3.8	△ 0.3		

*年指数(比)は原指数、四半期指数(比)は季節調整済指数

*品目順は寄与度順に列記

<情報通信機械工業>

－生産、出荷とも2年連続の低下－



<生産>

生産指数(原指数)は、96.2で前年比9.2%低下し、2年連続して低下しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期比7.9%低下、II期も同14.7%低下、III期も同5.8%低下、IV期は同4.9%上昇しました。

品目別にみると、固定通信装置やはん用コンピュータなどが減少し、外部記憶装置などが増加しました。

また、全国の情報通信機械工業の生産指数(原指数)は、91.6で前年比9.8%上昇し、3年ぶりに上昇しました。

<出荷>

出荷指数(原指数)は、112.4で前年比10.2%低下し、2年連続して低下しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期比9.7%低下、II期も同16.3%低下、III期も同4.3%低下、IV期は同2.9%上昇しました。

品目別にみると、固定通信装置やはん用コンピュータなどが減少し、外部記憶装置などが増加しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、18.0で前年末比27.7%低下し、7年連続して低下しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期末比3.0%上昇、II期は同11.5%低下、III期も同12.6%低下、IV期も同1.3%低下しました。

品目別にみると、ビデオカメラや陸上移動通信装置が減少し、金銭登録機などが増加しました。

表8 情報通信機械工業指数の年別・四半期別推移と上昇又は低下に寄与した主な品目

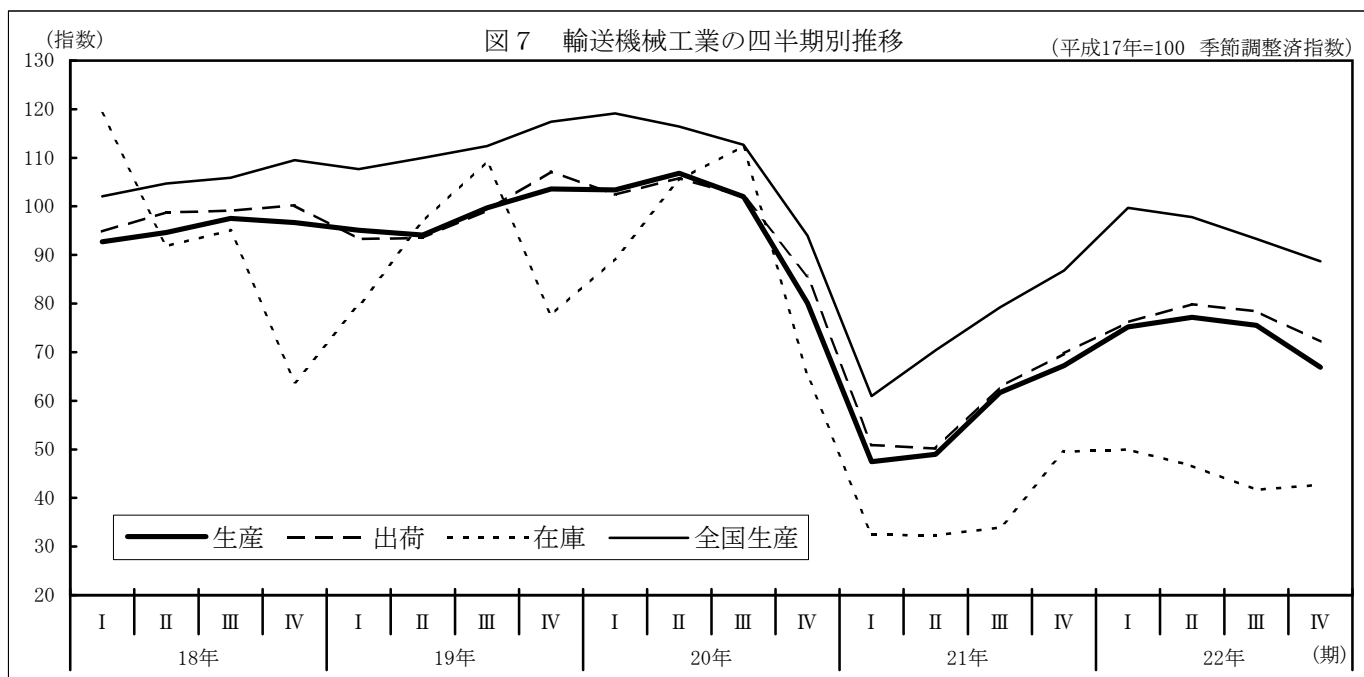
		21年	22年	22年				上昇又は低下に寄与した品目	
				I	II	III	IV		
生産	指数	105.9	96.2	109.8	93.7	88.3	92.6	増 外部記憶装置、交換機など 減 固定通信装置、はん用コンピュータ、ビデオカメラなど	
	対前年(期)増減率%	△ 13.8	△ 9.2	△ 7.9	△ 14.7	△ 5.8	4.9		
出荷	指数	125.1	112.4	129.1	108.1	103.4	106.4	増 外部記憶装置、交換機など 減 固定通信装置、はん用コンピュータ、ビデオカメラなど	
	対前年(期)増減率%	△ 14.2	△ 10.2	△ 9.7	△ 16.3	△ 4.3	2.9		
在庫	指数	24.9	18.0	30.5	27.0	23.6	23.3	増 金銭登録機、補聴器など 減 ビデオカメラ、陸上移動通信装置	
	対前年(期)末増減率%	△ 32.3	△ 27.7	3.0	△ 11.5	△ 12.6	△ 1.3		

*年指数(比)は原指数、四半期指数(比)は季節調整済指数

*品目順は寄与度順に列記

<輸送機械工業>

—生産、出荷とも2年ぶりの上昇—



<生産>

生産指数(原指数)は、73.3で前年比30.0%上昇し、2年ぶりに上昇しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期比11.9%上昇、II期も同2.7%上昇、III期は同2.2%低下、IV期も同11.4%低下しました。

品目別にみると、普通トラックや特装ボデーなどが増加し、小型乗用車などが減少しました。

また、全国の輸送機械工業の生産指数(原指数)は、94.5で前年比26.7%上昇し、3年ぶりに上昇しました。

<出荷>

出荷指数(原指数)は、76.5で前年比30.5%上昇し、2年ぶりに上昇しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期比9.3%上昇、II期も同4.9%上昇、III期は同1.9%低下、IV期も同7.9%低下しました。

品目別にみると、普通トラックや普通乗用車などが増加し、小型乗用車などが減少しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、43.0で前年末比11.3%低下し、3年連続して低下しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期末比1.0%上昇、II期は同6.8%低下、III期も同10.5%低下、IV期は同2.4%上昇しました。

品目別にみると、普通トラックや普通乗用車などが減少し、けん引車などが増加しました。

表9 輸送機械工業指数の年別・四半期別推移と上昇又は低下に寄与した主な品目

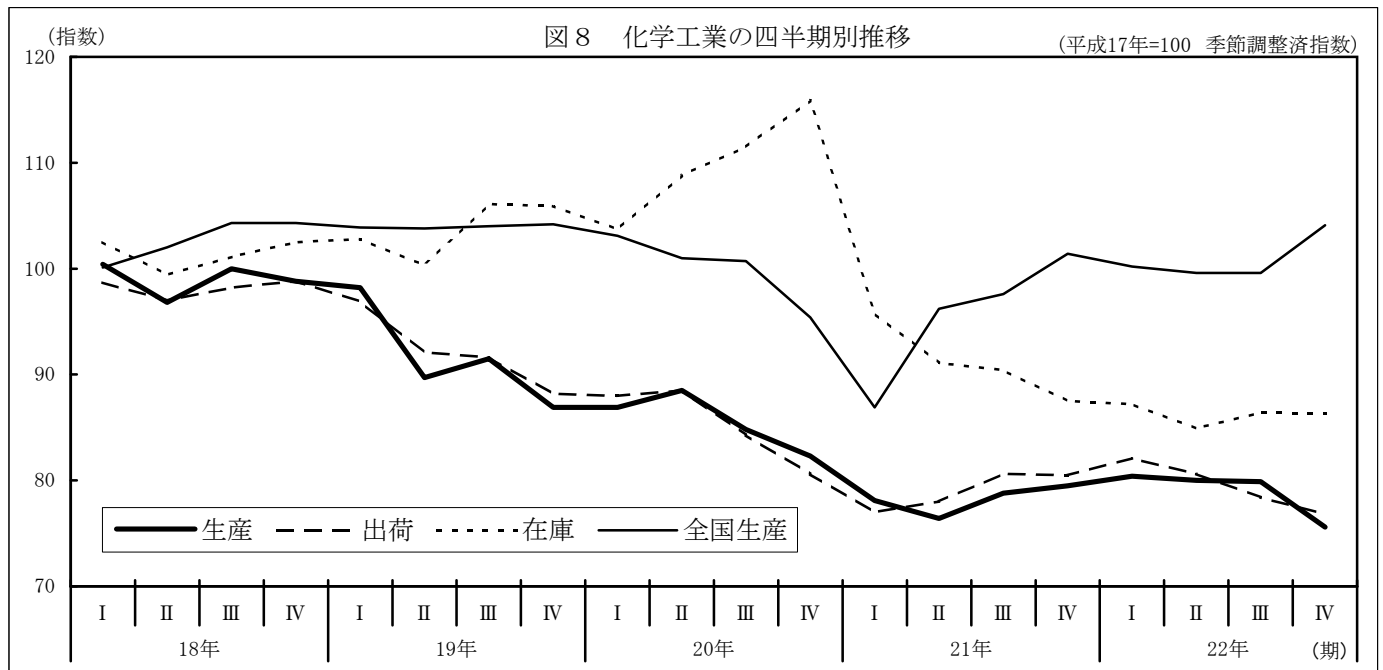
		21年		22年				上昇又は低下に寄与した品目	
		指数	増減率%	I	II	III	IV	増	減
生産	指数	56.4	73.3	75.2	77.2	75.5	66.9	普通トラック、特装ボデー、普通乗用車など	小型乗用車、鋼船など
	対前年(期)増減率%	△42.4	30.0	11.9	2.7	△2.2	△11.4		
出荷	指数	58.6	76.5	76.2	79.9	78.4	72.2	普通トラック、普通乗用車、特装ボデーなど	小型乗用車、鋼船など
	対前年(期)増減率%	△40.8	30.5	9.3	4.9	△1.9	△7.9		
在庫	指数	48.5	43.0	50.0	46.6	41.7	42.7	けん引車、小型バスなど	普通トラック、普通乗用車、自転車など
	対前年(期)末増減率%	△27.7	△11.3	1.0	△6.8	△10.5	2.4		

*年指数(比)は原指数、四半期指数(比)は季節調整済指数

*品目順は寄与度順に列記

<化学工業>

—生産、出荷とも5年ぶりの上昇—



<生産>

生産指数(原指数)は、78.9で前年比1.0%上昇し、5年ぶりに上昇しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期比1.1%上昇、II期は同0.5%低下、III期も同0.1%低下、IV期も同5.4%低下しました。

品目別にみると、写真フィルムや合成ゴムなどが増加し、医薬品などが減少しました。

また、全国の化学工業の生産指数(原指数)は、100.8で前年比5.8%上昇し、3年ぶりに上昇しました。

<出荷>

出荷指数(原指数)は、79.4で前年比0.6%上昇し、5年ぶりに上昇しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期比2.0%上昇、II期は同1.8%低下、III期も同2.7%低下、IV期も同2.0%低下しました。

品目別にみると、写真フィルムや酸化エチレンなどが増加し、医薬品などが減少しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、87.3で前年末比0.3%低下し、2年連続して低下しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期末比0.3%低下、II期も同2.6%低下、III期は同1.8%上昇、IV期は同0.1%低下しました。

品目別にみると、界面活性剤やポリエチレンなどが減少し、合成ゴムなどが増加しました。

表10 化学工業指数の年別・四半期別推移と上昇又は低下に寄与した主な品目

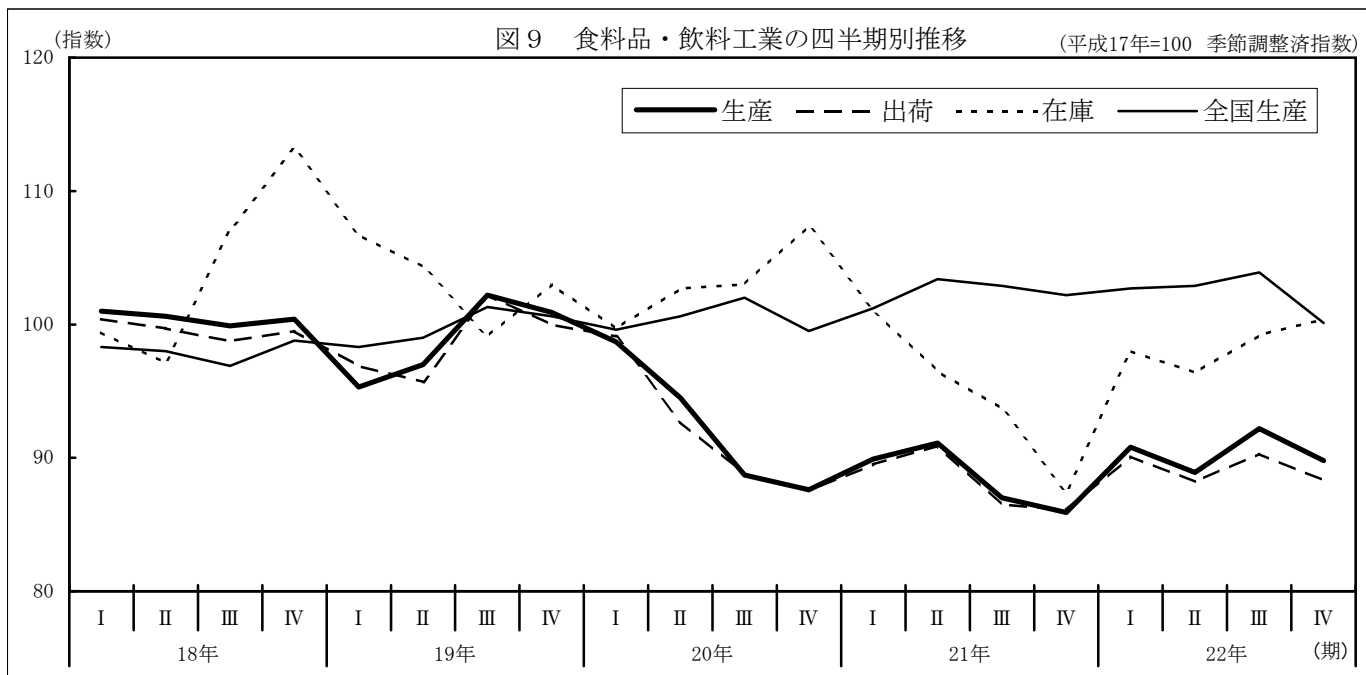
		21年		22年				上昇又は低下に寄与した品目
		指数	増減率%	I	II	III	IV	
生産	指数	78.1	78.9	80.4	80.0	79.9	75.6	増 写真フィルム、合成ゴム、酸化エチレンなど 減 医薬品、印画紙など
	対前年(期)増減率%	△ 9.0	1.0	1.1	△ 0.5	△ 0.1	△ 5.4	
出荷	指数	78.9	79.4	82.1	80.6	78.4	76.8	増 写真フィルム、酸化エチレン、合成ゴムなど 減 医薬品、印画紙など
	対前年(期)増減率%	△ 7.7	0.6	2.0	△ 1.8	△ 2.7	△ 2.0	
在庫	指数	87.6	87.3	87.2	84.9	86.4	86.3	増 合成ゴム、写真フィルムなど 減 界面活性剤、ポリエチレン、ポリプロピレン、ポリブタジエンなど
	対前年(期)末増減率%	△ 22.4	△ 0.3	△ 0.3	△ 2.6	1.8	△ 0.1	

*年指数(比)は原指数、四半期指数(比)は季節調整済指数

*品目順は寄与度順に列記

<食料品・飲料工業>

—生産は4年ぶりの上昇、出荷は5年ぶりの上昇—



<生産>

生産指数(原指数)は、90.2で前年比2.2%上昇し、4年ぶりに上昇しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期比5.7%上昇、II期は同2.1%低下、III期は同3.7%上昇、IV期は同2.6%低下しました。

品目別にみると、清涼飲料(炭酸飲料除く)やチョコレートなどが増加し、焼酎などが減少しました。また、全国の食料品・たばこ工業の生産指数(原指数)は、102.4で前年比0.1%上昇し、4年連続して上昇しました。

<出荷>

出荷指数(原指数)は、89.1で前年比1.1%上昇し、5年ぶりに上昇しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期比4.6%上昇、II期は同2.1%低下、III期は同2.4%上昇、IV期は同2.2%低下しました。

品目別にみると、清涼飲料(炭酸飲料除く)やチョコレートなどが増加し、乳飲料などが減少しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、92.9で前年末比15.1%上昇し、2年ぶりに上昇しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期末比12.1%上昇、II期は同1.6%低下、III期は同2.9%上昇、IV期も同1.2%上昇しました。

品目別にみると、チョコレートや果実酒などが増加し、ビスケット類などが減少しました。

表 1 1 食料品・飲料工業指数の年別・四半期別推移と上昇又は低下に寄与した主な品目

		21年	22年	22年				上昇又は低下に寄与した品目	
				I	II	III	IV		
生産	指数	88.3	90.2	90.8	88.9	92.2	89.8	増 清涼飲料(炭酸飲料除く)、チョコレート、炭酸飲料など 減 焼酎、グルタミン酸ソーダなど	
	対前年(期)増減率%	△ 4.2	2.2	5.7	△ 2.1	3.7	△ 2.6		
出荷	指数	88.1	89.1	90.1	88.2	90.3	88.3	増 清涼飲料(炭酸飲料除く)、チョコレート、炭酸飲料など 減 乳飲料、焼酎など	
	対前年(期)増減率%	△ 4.0	1.1	4.6	△ 2.1	2.4	△ 2.2		
在庫	指数	80.7	92.9	98.0	96.4	99.2	100.4	増 チョコレート、果実酒、混合植物油脂など 減 ビスケット類、焼酎など	
	対前年(期)末増減率%	△ 18.3	15.1	12.1	△ 1.6	2.9	1.2		

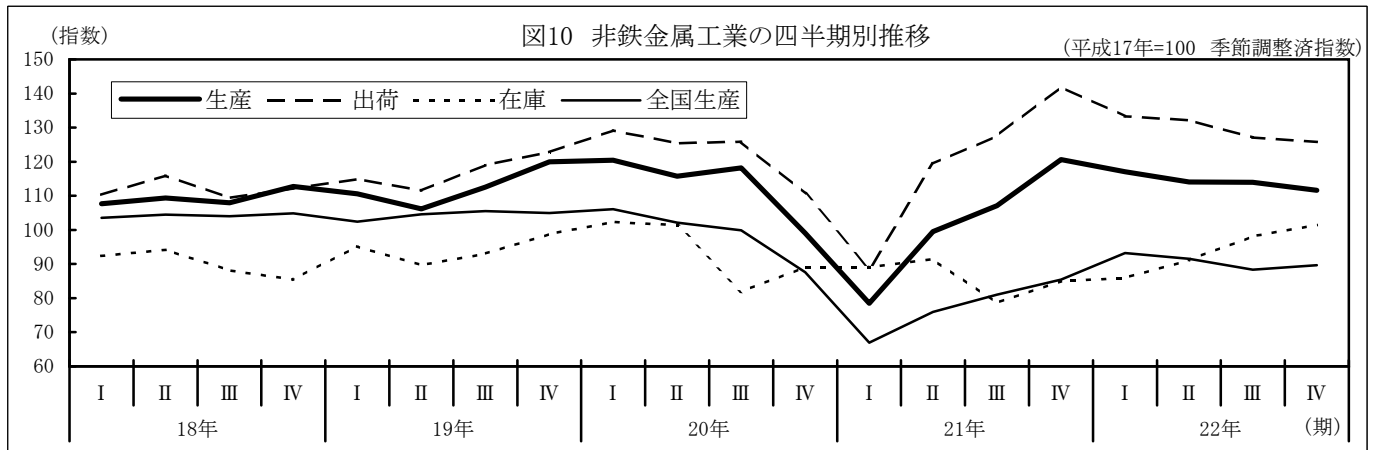
*年指数(比)は原指数、四半期指数(比)は季節調整済指数

*品目順は寄与度順に列記

(2) その他の業種の動向

<非鉄金属工業>

－生産、出荷とも2年ぶりの上昇－



<生産>

生産指数(原指数)は、113.9で前年比12.8%上昇し、2年ぶりに上昇しました。
品目別にみると、伸銅製品やダイカストなどが増加し、銅電線などが減少しました。
また、全国の非鉄金属工業の生産指数(同)は、90.5で前年比16.9%上昇し、3年ぶりに上昇しました。

<出荷>

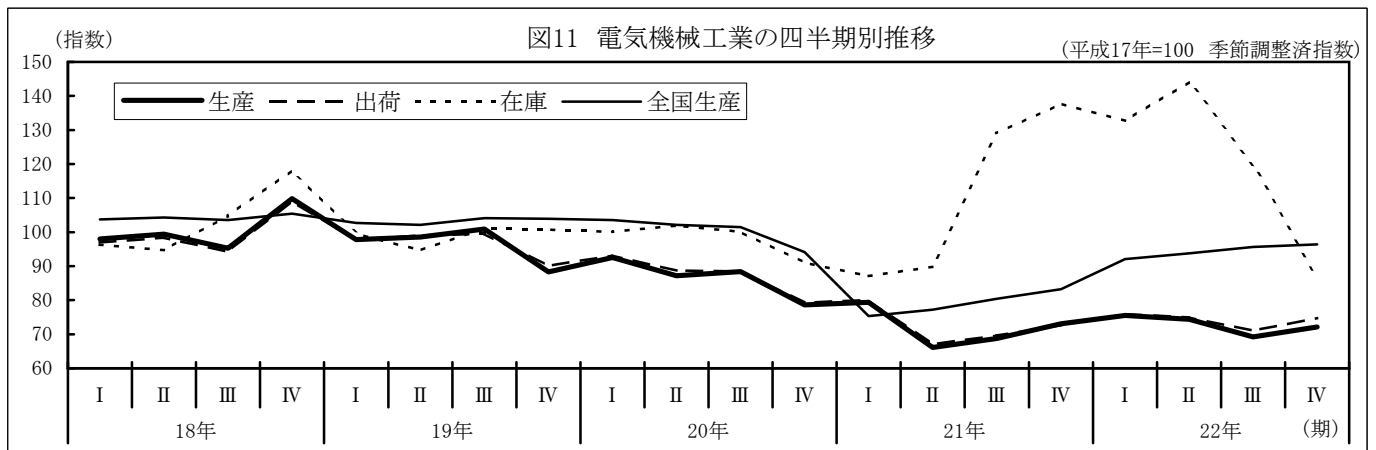
出荷指数(原指数)は、129.2で前年比8.7%上昇し、2年ぶりに上昇しました。
品目別にみると、伸銅製品やダイカストなどが増加し、光ファイバなどが減少しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、104.4で前年末比17.8%上昇し、3年ぶりに上昇しました。
品目別にみると、伸銅製品や通信用電線・ケーブルが増加し、銅電線が減少しました。

<電気機械工業>

－生産、出荷とも6年ぶりの上昇－



<生産>

生産指数(原指数)は、73.1で前年比1.1%上昇し、6年ぶりに上昇しました。
品目別にみると、自動車用照明器具やその他の電子応用装置などが増加し、交流発電機などが減少しました。
また、全国の電気機械工業の生産指数(同)は、94.4で前年比19.6%上昇し、4年ぶりに上昇しました。

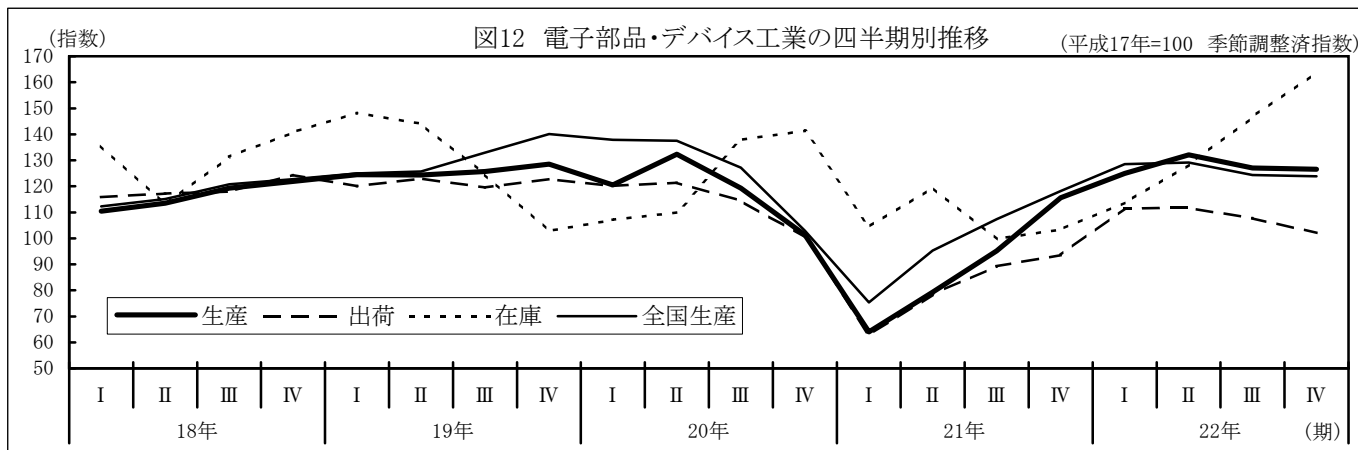
<出荷>

出荷指数(原指数)は、74.3で前年比2.2%上昇し、6年ぶりに上昇しました。
品目別にみると、自動車用照明器具やその他の電子応用装置などが増加し、交流発電機などが減少しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、94.2で前年末比37.4%低下し、2年ぶりに低下しました。
品目別にみると、自動車用照明器具や蛍光灯器具などが減少し、アルカリ乾電池などが増加しました。

＜電子部品・デバイス工業＞ ー生産、出荷とも3年ぶりの上昇ー



＜生産＞

生産指数(原指数)は、127.7で前年比43.0%上昇し、3年ぶりに上昇しました。
 品目別にみると、コネクタやモス型半導体集積回路(CCD)などが増加し、通信・電子用スイッチが減少しました。
 また、全国の電子部品・デバイス工業の生産指数(同)は、126.3で前年比26.3%上昇し、3年ぶりに上昇しました。

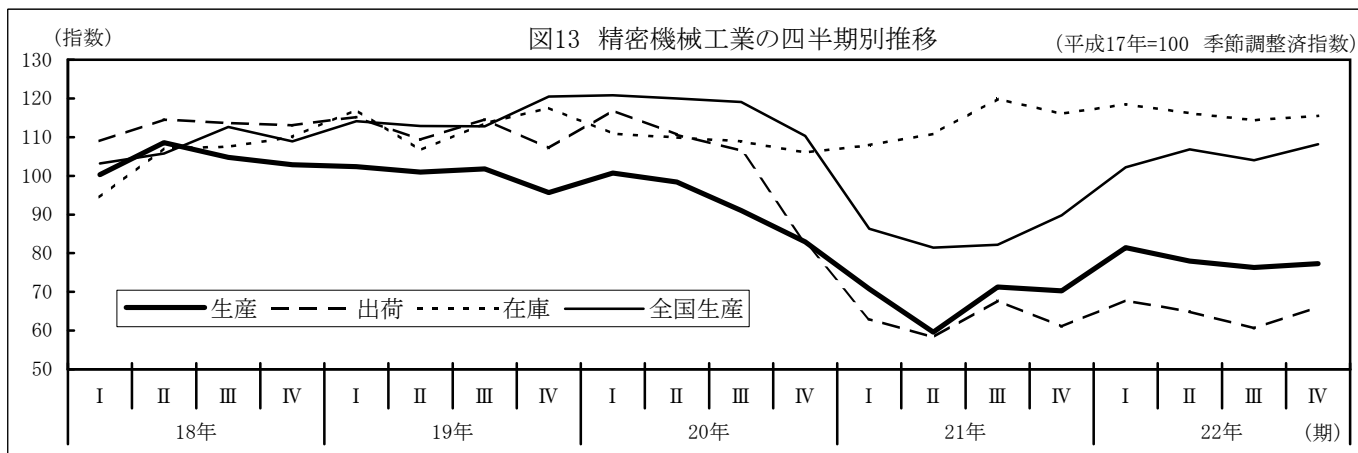
＜出荷＞

出荷指数(原指数)は、108.0で前年比32.7%上昇し、3年ぶりに上昇しました。
 品目別にみると、モス型半導体集積回路(論理素子)やコネクタなどが増加し、通信・電子用スイッチが減少しました。

＜在庫＞

在庫指数(原指数)は、171.5で前年末比53.5%上昇し、2年ぶりに上昇しました。
 品目別にみると、モス型半導体集積回路(論理素子)や線形半導体集積回路などが増加しました。

＜精密機械工業＞ ー生産、出荷とも4年ぶりの上昇ー



＜生産＞

生産指数(原指数)は、78.0で前年比15.0%上昇し、4年ぶりに上昇しました。
 品目別にみると、精密測定機や測量機器などが増加し積算体積計などが減少しました。
 また、全国の精密機械工業の生産指数(同)は、105.1で前年比24.2%上昇し、2年ぶりに上昇しました。

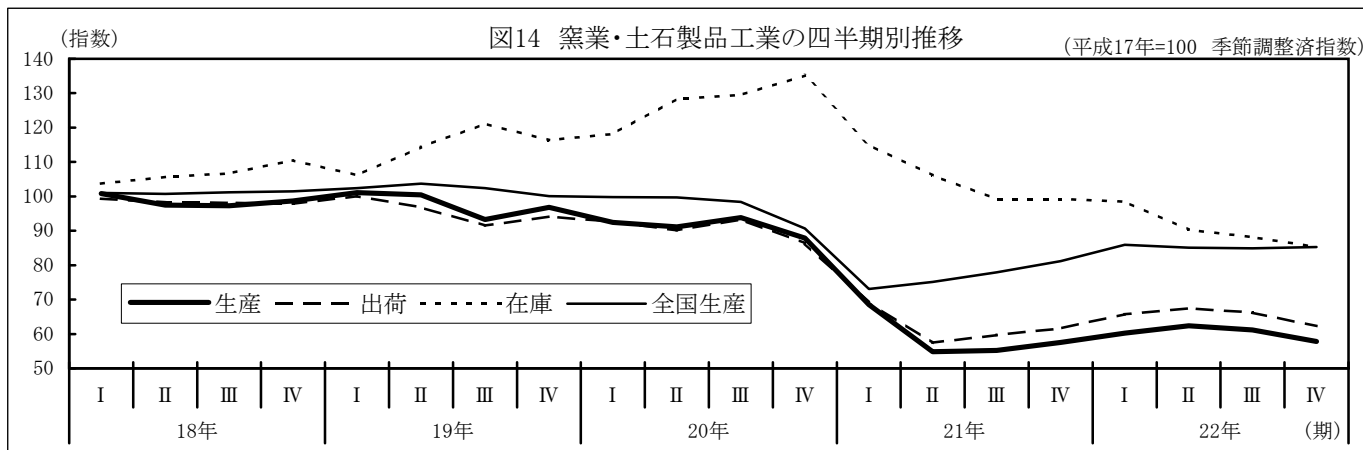
＜出荷＞

出荷指数(原指数)は、64.7で前年比3.7%上昇し、4年ぶりに上昇しました。
 品目別にみると、精密測定機や工業用計重機などが増加し、測量機器などが減少しました。

＜在庫＞

在庫指数(原指数)は、119.2で前年末比1.1%低下し、2年ぶりに低下しました。
 品目別にみると、測量機器や精密測定機などが減少し、工業用計重機などが増加しました。

＜窯業・土石製品工業＞ ー生産は5年ぶりの上昇、出荷は10年ぶりの上昇ー



＜生産＞

生産指数(原指数)は、60.3で前年比2.6%上昇し、5年ぶりに上昇しました。
 品目別にみると、安全ガラスやガラス短繊維製品などが増加し、研削砥石などが減少しました。
 また、全国の窯業・土石製品工業の生産指数(同)は、85.2で前年比10.9%上昇し、3年ぶりに上昇しました。

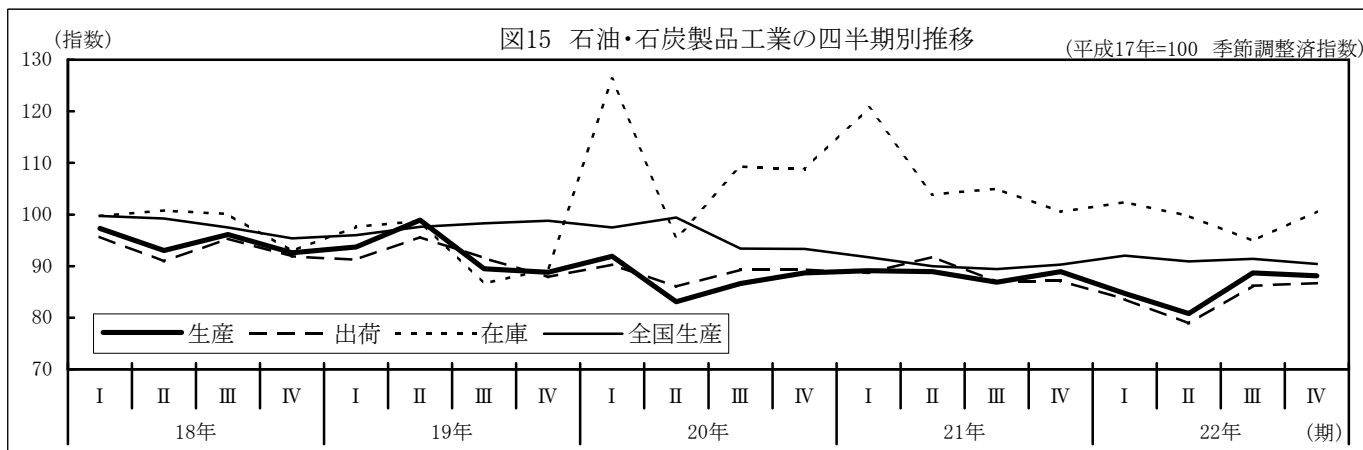
＜出荷＞

出荷指数(原指数)は、65.3で前年比5.8%上昇し、10年ぶりに上昇しました。
 品目別にみると、安全ガラスやガラス基礎製品などが増加し、研削砥石などが減少しました。

＜在庫＞

在庫指数(原指数)は、84.7で前年末比14.9%低下し、2年連続して低下しました。
 品目別にみると、安全ガラスや遠心力鉄筋コンクリートなどが減少し、セメントなどが上昇しました。

＜石油・石炭製品工業＞ ー生産は2年ぶりの低下、出荷は5年連続の低下ー



＜生産＞

生産指数(原指数)は、85.7で前年比2.8%低下し、2年ぶりに低下しました。
 品目別にみると、C重油や軽油などが減少し、コークスなどが増加しました。
 また、全国の石油・石炭製品工業の生産指数(同)は、91.1で前年比1.0%上昇し、5年ぶりに上昇しました。

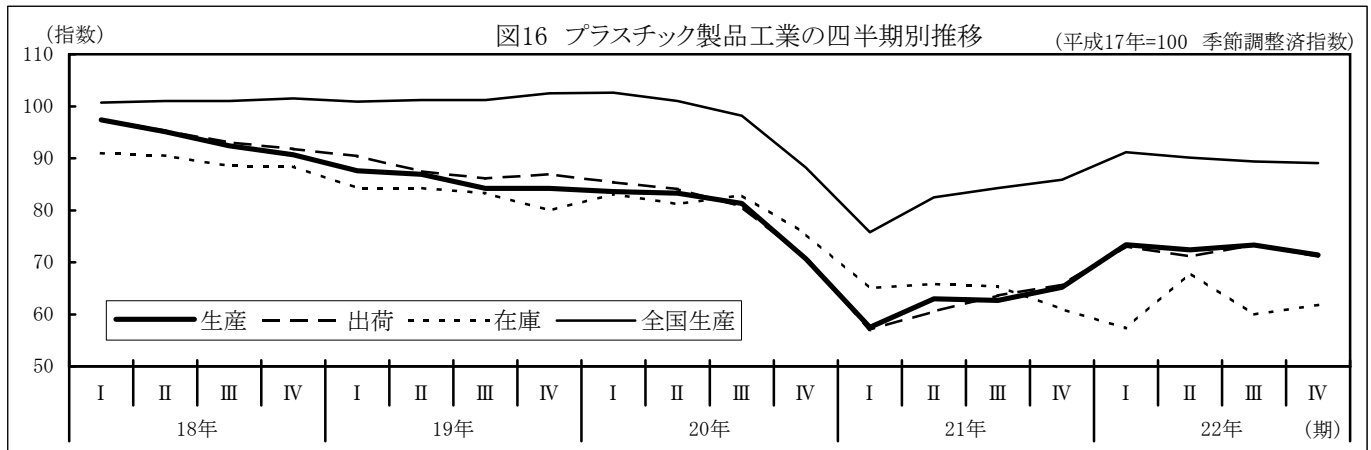
＜出荷＞

出荷指数(原指数)は、83.8で前年比5.0%低下し、5年連続して低下しました。
 品目別にみると、軽油やC重油などが減少し、精製及び混合原料油などが増加しました。

＜在庫＞

在庫指数(原指数)は、97.3で前年末比0.6%低下し、2年連続して低下しました。
 品目別にみると、ジェット燃料油やコークスなどが減少し、ガソリンなどが増加しました。

＜プラスチック製品工業＞ ー生産、出荷とも7年ぶりの上昇ー



＜生産＞

生産指数(原指数)は、72.5で前年比17.1%上昇し、7年ぶりに上昇しました。
 品目別にみると、プラスチック製機械器具部品や日用品・雑貨プラスチック製品などが増加し、プラスチック製容器などが減少しました。
 また、全国のプラスチック製品工業の生産指数(同)は、89.8で前年比9.4%上昇し、3年ぶりに上昇しました。

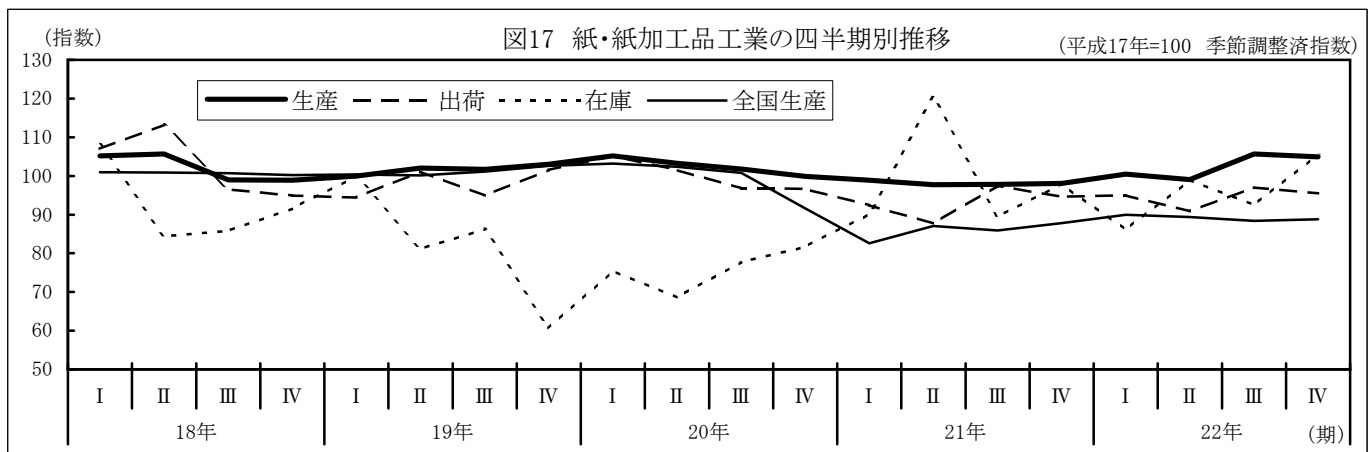
＜出荷＞

出荷指数(原指数)は、72.0で前年比16.9%上昇し、7年ぶりに上昇しました。
 品目別にみると、プラスチック製機械器具部品や日用品・雑貨プラスチック製品などが増加し、プラスチック製容器などが減少しました。

＜在庫＞

在庫指数(原指数)は、62.4で前年末比0.6%上昇し、10年ぶりに上昇しました。
 品目別にみると、プラスチック製機械器具部品や発泡プラスチック製品が増加し、強化プラスチック製品などが減少しました。

＜紙・紙加工品工業＞ ー生産、出荷とも2年ぶりの上昇ー



＜生産＞

生産指数(原指数)は、102.5で前年比4.7%上昇し、2年ぶりに上昇しました。
 品目別にみると、段ボールシートや衛生用紙が増加しました。
 また、全国のパルプ・紙・紙加工品工業の生産指数(同)は、89.1で前年比3.8%上昇し、3年ぶりに上昇しました。

＜出荷＞

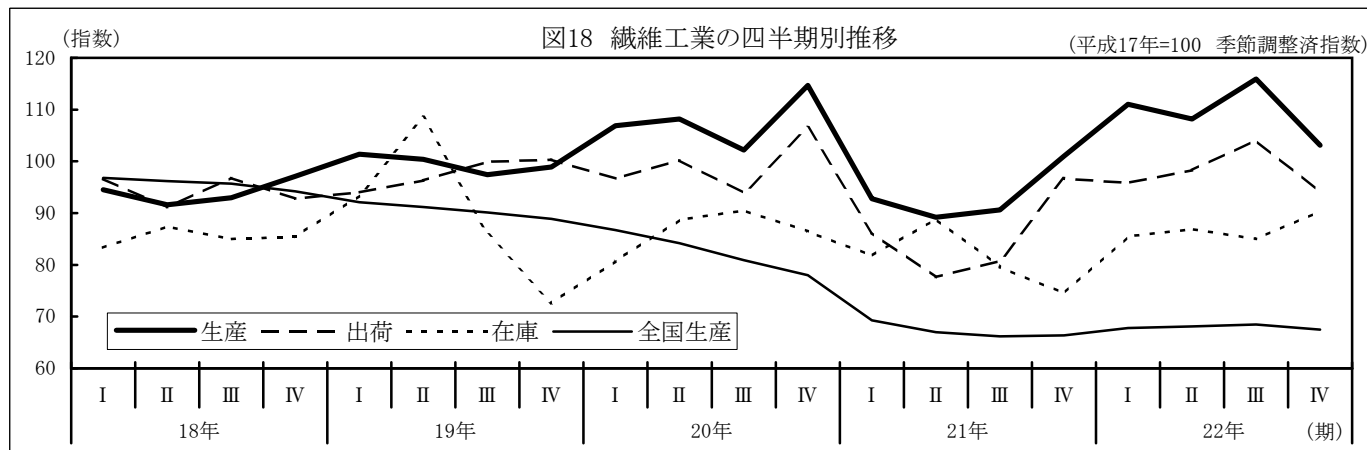
出荷指数(原指数)は、94.3で前年比2.1%上昇し、2年ぶりに上昇しました。
 品目別にみると、衛生用紙やダンボールシートが増加しました。

＜在庫＞

在庫指数(原指数)は、88.1で前年末比11.0%上昇し、3年連続して上昇しました。
 品目別にみると、衛生用紙やダンボールシートが増加しました。

<繊維工業>

—生産、出荷とも2年ぶりの上昇—



<生産>

生産指数(原指数)は、109.1で前年比16.9%上昇し、2年ぶりに上昇しました。
 品目別にみると、合成繊維やふとんなどが増加し、不織布が減少しました。
 また、全国の繊維工業の生産指数(同)は、67.9で前年比1.2%上昇し、22年ぶりに上昇しました。

<出荷>

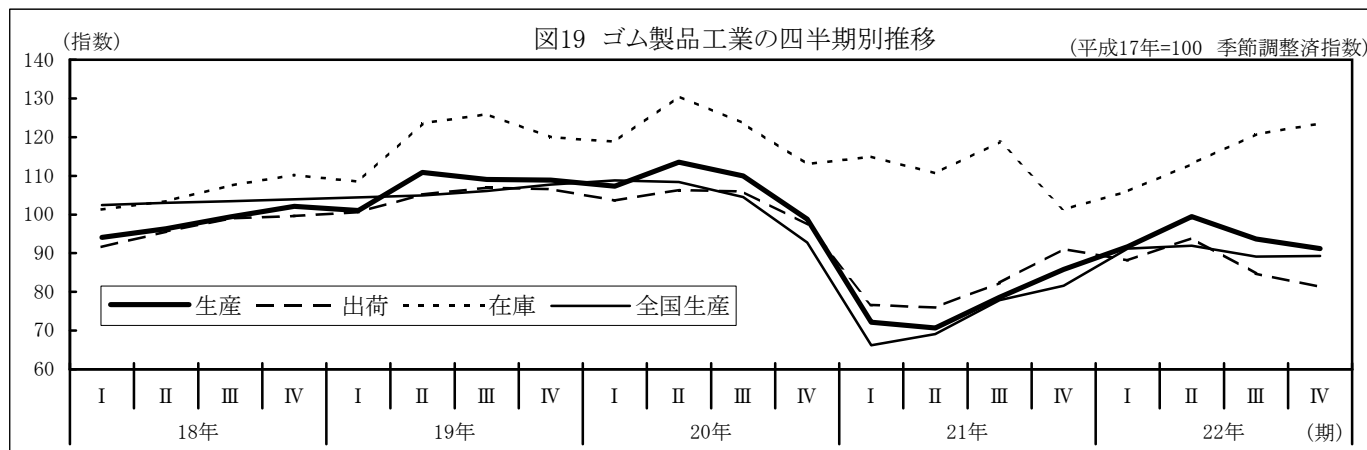
出荷指数(原指数)は、97.5で前年比13.2%上昇し、2年ぶりに上昇しました。
 品目別にみると、合成繊維やふとんなどが増加し、ニット・織物製外衣などが減少しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、113.2で前年末比23.4%上昇し、2年ぶりに上昇しました。
 品目別にみると、ニット・織物製外衣や不織布などが増加しました。

<ゴム製品工業>

—生産は2年ぶりの上昇、出荷は3年ぶりの上昇—



<生産>

生産指数(原指数)は、94.0で前年比22.2%上昇し、2年ぶりに上昇しました。
 品目別にみると、ゴムホースやコンベヤベルトなどが増加し、工業用ゴム製品が減少しました。
 また、全国のゴム製品工業の生産指数(同)は、90.3で前年比22.2%上昇し、3年ぶりに上昇しました。

<出荷>

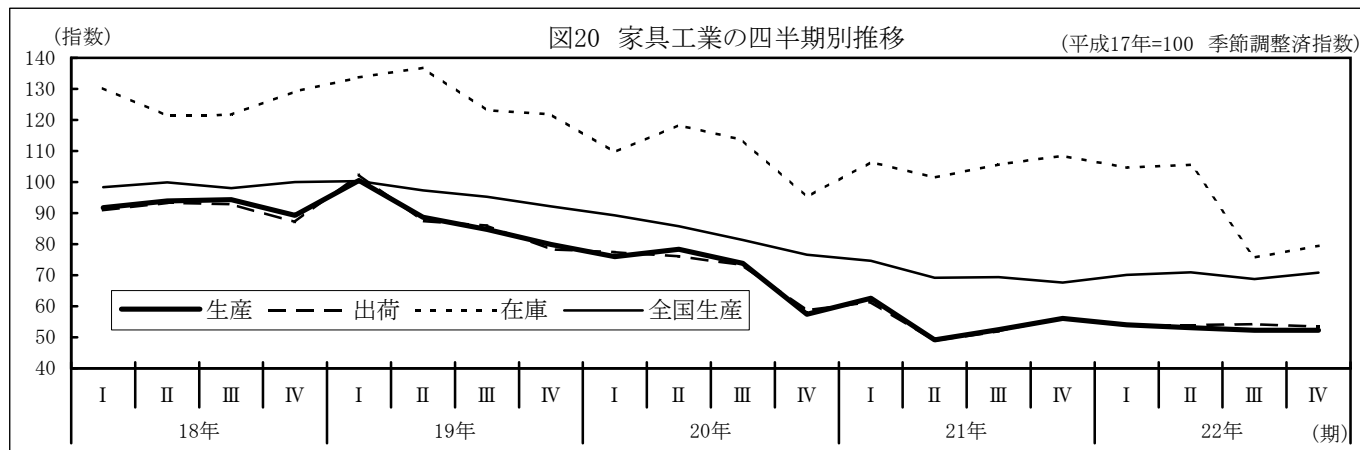
出荷指数(原指数)は、86.7で前年比6.5%上昇し、3年ぶりに上昇しました。
 品目別にみると、ゴムホースが増加し、工業用ゴム製品などが減少しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、116.9で前年末比19.9%上昇し、3年ぶりに上昇しました。
 品目別にみると、コンベヤベルトやゴムホースが増加し、工業用ゴム製品などが減少しました。

<家具工業>

—生産、出荷とも6年連続の低下—



<生産>

生産指数(原指数)は、53.2で前年比5.3%低下し、6年連続して低下しました。

品目別にみると、その他の金属製家具や金属製間仕切りなどが減少し、システムキッチンなどが増加しました。

また、全国の家具工業の生産指数(同)は、70.2で前年比0.1%上昇し、6年ぶりに上昇しました。

<出荷>

出荷指数(原指数)は、54.0で前年比2.5%低下し、6年連続して低下しました。

品目別にみると、その他の金属製家具や金属製間仕切りなどが減少し、システムキッチンなどが増加しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、83.1で前年末比27.3%低下し、2年ぶりに低下しました。

品目別にみると、システムキッチンやその他の金属製家具などが減少し、流し・ガス・調理台が増加しました。

3 財別の出荷動向

ー 最終需要財は2年ぶりの上昇、生産財は3年ぶりの上昇 ー

平成22年の出荷動向を特殊分類による財別で見ると、**最終需要財出荷指数**（原指数）は、82.1で前年比8.0%上昇し、2年ぶりに上昇しました。

また、**生産財出荷指数**（原指数）は、82.8で前年比11.1%上昇し、3年ぶりに上昇しました。

これらの財を四半期別（季節調整済指数）にみると、最終需要財はI期は前期比1.6%上昇、II期は同0.1%低下、III期は同1.5%上昇、IV期は同4.3%低下しました。生産財はI期は前期比4.5%上昇、II期は同0.5%低下、III期は同1.3%上昇、IV期は同2.1%低下しました。

(1) 最終需要財

ア 投資財（資本財・建設財）

資本財出荷指数（原指数）は、84.7で前年比14.3%上昇し、2年ぶりに上昇しました。

品目別にみると、普通トラックや掘さく機械などが増加し、固定通信装置などが減少しました。

建設財出荷指数（原指数）は、95.7で前年比11.1%上昇し、4年ぶりに上昇しました。

品目別にみると、橋りょうやガス機器などが増加し、ベンディングロール成型鋼管などが減少しました。

イ 消費財（耐久消費財・非耐久消費財）

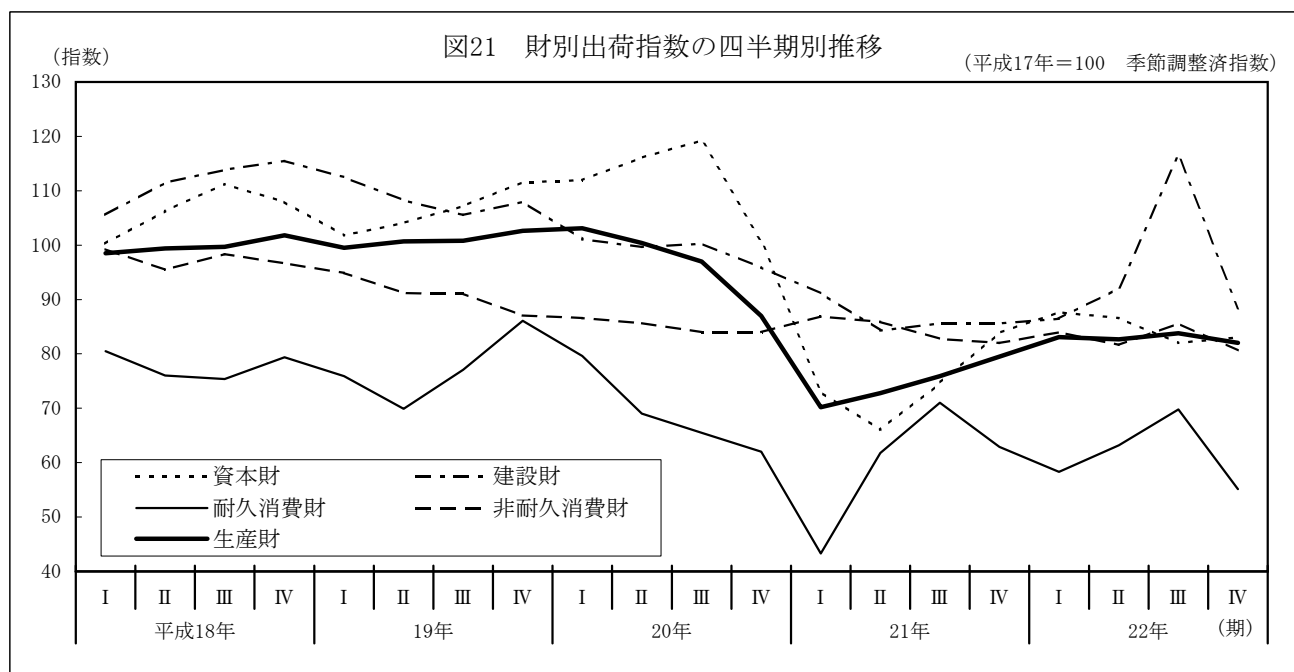
耐久消費財出荷指数（原指数）は、61.4で前年比4.4%上昇し、5年ぶりに上昇しました。品目別にみると、普通乗用車や補聴器などが増加し、ビデオカメラなどが減少しました。

非耐久消費財出荷指数（原指数）は、82.9で前年比1.3%低下し、5年連続して低下しました。品目別にみると、医薬品や灯油などが減少し、日用品・雑貨プラスチック製品などが増加しました。

(2) 生産財

品目別にみると、はん用内燃機関や油圧機器などが増加し、蒸気タービン部品などが減少しました。

（P21表12、表13参照）



（特殊分類についてはP87、P89表14参照）

表 1 2 財別出荷指数の対前年・対前期増減率

(平成17年=100)

財	年・期	19年	20年	21年	22年	22年				
						IV	I	II	III	IV
製造工業	指数	99.2	97.7	75.4	82.4	80.5	82.8	82.4	83.9	80.8
	対前年(期)増減率%	△ 1.3	△ 1.5	△ 22.8	9.3	4.1	2.9	△ 0.5	1.8	△ 3.7
最終需要財	指数	98.1	98.3	76.0	82.1	81.2	82.5	82.4	83.6	80.0
	対前年(期)増減率%	△ 2.9	0.2	△ 22.7	8.0	4.2	1.6	△ 0.1	1.5	△ 4.3
投資財	指数	106.0	110.9	75.2	85.8	84.0	87.7	87.1	84.6	84.0
	対前年(期)増減率%	△ 1.1	4.6	△ 32.2	14.1	11.0	4.4	△ 0.7	△ 2.9	△ 0.7
資本財	指数	105.7	112.1	74.1	84.7	83.9	87.7	86.6	82.0	83.1
	対前年(期)増減率%	△ 1.0	6.1	△ 33.9	14.3	12.5	4.5	△ 1.3	△ 5.3	1.3
建設財	指数	108.5	99.2	86.1	95.7	85.6	86.5	92.1	116.5	88.4
	対前年(期)増減率%	△ 2.7	△ 8.6	△ 13.2	11.1	0.0	1.1	6.5	26.5	△ 24.1
消費財	指数	87.2	80.8	77.0	77.0	76.4	75.9	76.9	82.0	73.6
	対前年(期)増減率%	△ 5.6	△ 7.3	△ 4.7	0.0	△ 4.6	△ 0.7	1.3	6.6	△ 10.2
耐久消費財	指数	77.3	69.4	58.8	61.4	62.9	58.3	63.2	69.8	55.1
	対前年(期)増減率%	△ 1.7	△ 10.2	△ 15.3	4.4	△ 11.4	△ 7.3	8.4	10.4	△ 21.1
非耐久消費財	指数	90.9	85.2	84.0	82.9	82.0	84.0	81.7	85.6	80.7
	対前年(期)増減率%	△ 6.9	△ 6.3	△ 1.4	△ 1.3	△ 1.0	2.4	△ 2.7	4.8	△ 5.7
生産財	指数	100.7	97.0	74.5	82.8	79.5	83.1	82.7	83.8	82.0
	対前年(期)増減率%	0.7	△ 3.7	△ 23.2	11.1	4.7	4.5	△ 0.5	1.3	△ 2.1

*年指数(比)は原指数、四半期指数(比)は季節調整済指数

表 1 3 財別出荷指数の上昇又は低下に寄与した主要品目

財	対前年増減率%	寄与度(ポイント)	上昇又は低下に寄与した主な品目		
			増	減	
上	生産財	11.1	4.63	増	はん用内燃機関、油圧機器、特装ボデーなど
				減	蒸気タービン部品、超硬工具など
	資本財	14.3	4.28	増	普通トラック、掘さく機械、外部記憶装置など
				減	固定通信装置、ろ過・分離機器など
昇	建設財	11.1	0.40	増	橋りょう、ガス機器、合成樹脂塗料など
				減	バンディングロール成型鋼管、鉄骨など
昇	耐久消費財	4.4	0.23	増	普通乗用車、補聴器、ふとんなど
				減	ビデオカメラ、小型乗用車など
低下	非耐久消費財	△ 1.3	△ 0.26	増	日用品・雑貨プラスチック製品、清涼飲料(炭酸飲料除く)など
				減	医薬品、灯油、ガソリンなど

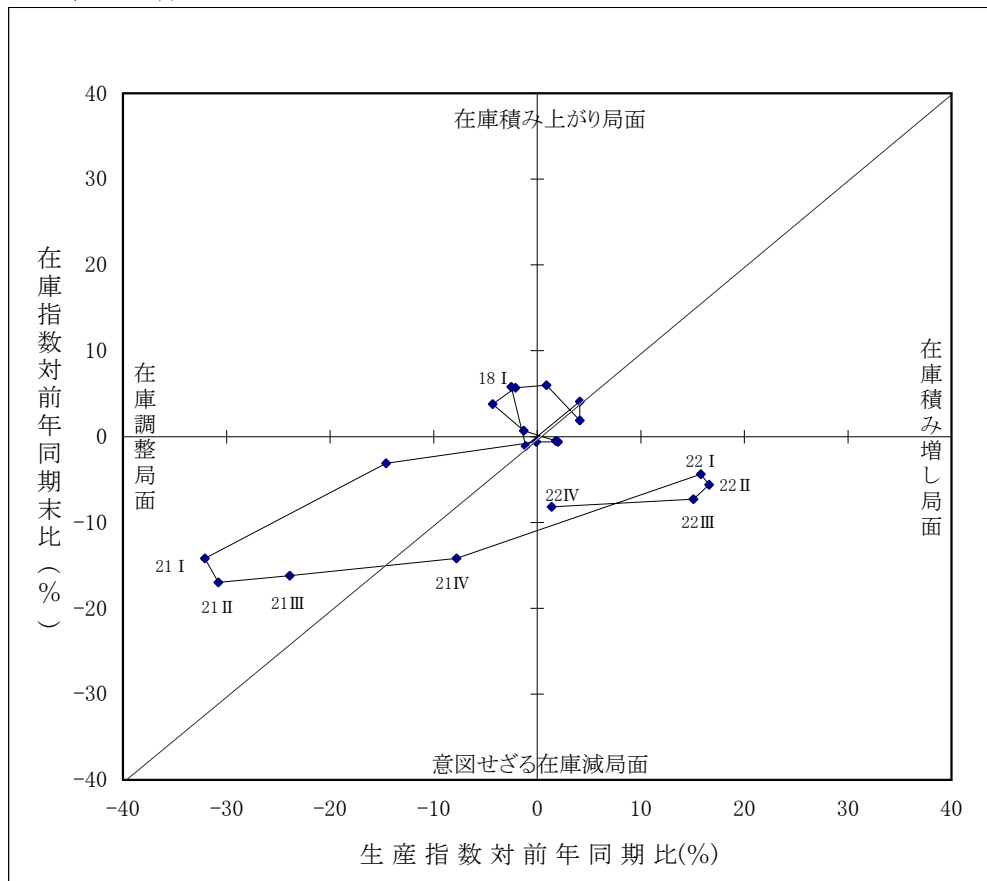
<参考> 在庫循環図

平成22年Ⅰ期の生産指数（原指数）は前年同期比15.8%上昇し、在庫指数（原指数）は前年同期末比4.4%低下しました。Ⅱ期の生産指数（原指数）は前年同期比16.6%上昇し、在庫指数（原指数）は前年同期末比5.6%低下しました。Ⅲ期の生産指数（原指数）は前年同期比15.1%上昇し、在庫指数（原指数）は前年同期末比7.3%低下しました。Ⅳ期の生産指数（原指数）は前年同期比1.4%上昇し、在庫指数（原指数）は前年同期末比8.2%低下しました。

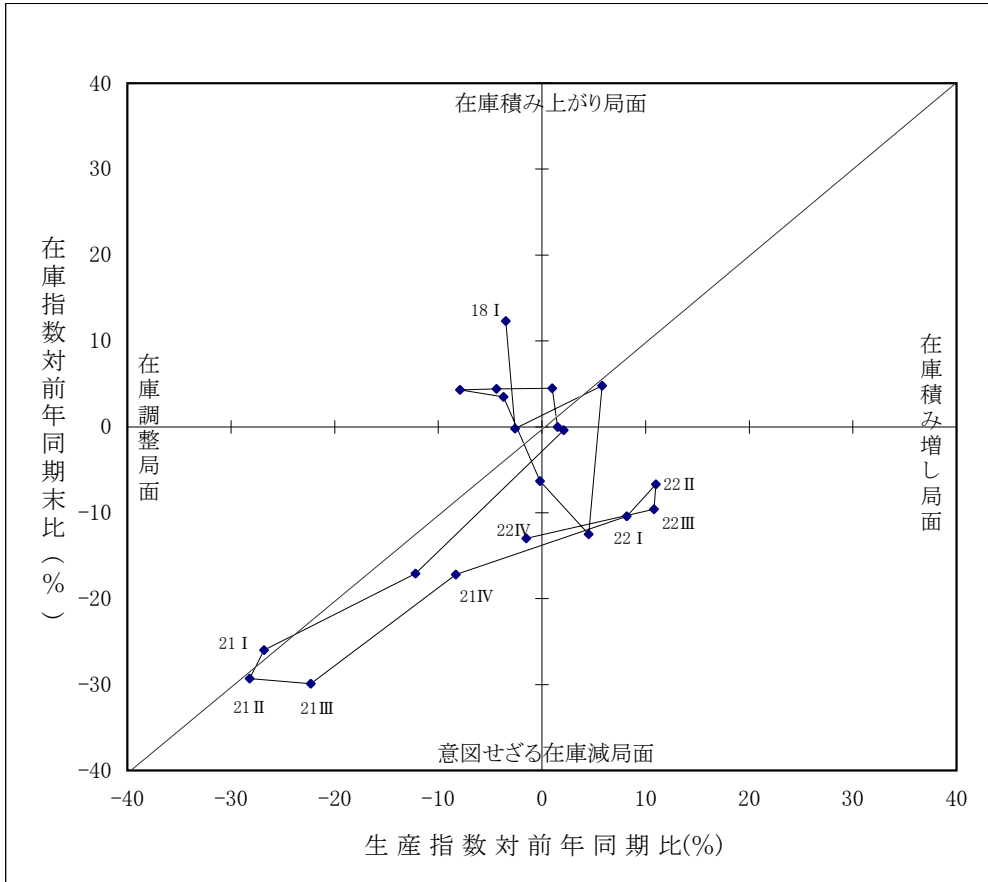
※在庫循環図の見方（生産と在庫について、以下のような循環が見られる場合が多い。）

- 意図せざる在庫減局面：需要が予測を上回り、一時的に在庫が減少する。
- 在庫積み増し局面：生産を増加させて、在庫を積み増している。
- 在庫積み上がり局面：需要が予測を下回り、在庫が積みあがってしまう。
- 在庫調整局面：生産を縮小し、積みあがった在庫を減らしている。

製造工業



最終需要財



生産財

